

参考資料

1. (仮称)豊岡町複合施設の基本構想策定に向けた対話(サウンディング型市場調査)結果…参1
2. (意見交換会1)基本構想素案の策定に向けた意見交換会の開催記録…参2
3. (意見交換会2)基本構想素案の策定に向けた意見交換会の開催記録…参3
4. 「基本構想(素案)策定に向けた考え方」に対する意見募集の実施結果…参4
5. 「(仮称)豊岡町複合施設再編整備事業基本構想(素案)」
に関する市民意見募集の実施結果…参5

(仮称) 豊岡町複合施設の基本構想策定に向けた対話 (サウンディング型市場調査) 結果**1. 調査の目的**

(仮称) 豊岡町複合施設が、将来にわたり、地域にとって魅力のある施設となるよう、施設及びその整備事業について、民間事業者との対話を通じて、アイデア等を聴き取り、今後の基本構想(案)の検討にあたり参考とすることを目的とします。

2. 実施スケジュール

内 容	時 期
実施要領の公表	令和4年11月10日(木)
申込期限	令和4年11月24日(木)
現地見学会	令和4年12月7日(水)
提案書の受付期限	令和5年1月11日(水)
サウンディングの実施	令和5年1月17日(火)～3月3日(金)

3. 参加事業者数

業 種	事業者数
建築・土木	12社
賃貸	2社
建物管理	4社
各種調査企画等	5社
施設運営	4社
その他	4社
合計	31社

4. 本調査で得られた主な意見

以下のご意見は、市場性、実現性等を精査したものではなく、魅力的な複合施設とするためのアイデアとして提案を頂いたものです。

<p>(1) 魅力ある機能や空間づくりのアイデア</p> <p>◆魅力ある機能のアイデア</p> <ul style="list-style-type: none">・横浜市型子育て応援モデルとなる施設・地域交流、賑わい創生の拠点・学校の体育館、特別教室、給食室等を放課後、休日等に活用することによる活性化、魅力的なサービス提供 (民間事業者による運営・サービス提供) <p>◆空間づくりのアイデア</p> <ul style="list-style-type: none">・公共機能の一体化、一体管理による効率化 (小学校図書室と図書館、校庭と園庭等)・機能ごとに空間を仕切らない、開放的かつ交流が生まれやすい空間づくり、運営 (大空間、屋上活用)・小学校や保育園のセキュリティを確保しつつ、市民が利用しやすい開放的な空間づくり・体育館・グラウンド・プール・会議室等の未利用時間の有効活用 (公民連携による地域開放等) <p>◆環境対策</p> <ul style="list-style-type: none">・環境配慮の取組 (学校ゼロエネルギー化、エコスクール、ゼロカーボン等)
<p>(2) 想定される民間機能</p> <p>◆子育て支援をテーマにした民間機能</p> <ul style="list-style-type: none">・教育関係 (学習、芸術、英会話、スポーツ、ICT 系スクール等)・子育て応援 (こどもの遊び場、習い事サービス付き学童、子育て相談)・多様な学びの提供 (探求型学習、STEAM 教育、社会活動等) <p>◆地域の交流・コミュニティの活性をテーマにした民間機能の提案</p> <ul style="list-style-type: none">・コワーキングスペース・イベントスペース・エリアマネジメントの拠点 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none">・カフェ・スポーツジム・プール・温浴施設・サテライトキャンパス・医療施設 (クリニックモール、薬局等)・物販店舗 (スーパー、直売所、ドラッグストア等)・マンション (子育て世代向け又は高齢者向け、定借分譲又は賃貸)

(3) 想定される事業スキーム等

◆事業手法（公共施設部分）

- ・PFI-BTO
- ・DBO
- ・民間事業者が整備した建物の床（小学校以外）を横浜市にリース

◆事業手法（民間施設部分）

- ・横浜市が整備し所有する建物の床の一部を、民間事業者が定期建物賃貸借、又は区分所有により活用
- ・市有地の一部に定期借地権を設定し、民間事業者が民間施設を整備・運営

◆事業期間

- ・PFI-BTO や DBO の場合は、10～20 年程度
- ・定期借地権を設定し民間施設を整備する場合は、50～70 年程度

(4) その他・要望、アイデア等

- ・工事期間が長くなる分、工事中の児童等の安全確保、物価上昇リスク等が課題となる
- ・昨今の物価変動を踏まえて、物価変動リスクを十分に考慮して欲しい
- ・提案時には、価格点よりも提案内容を重視してほしい
- ・市内企業の参画を促進してほしい
- ・市内外の企業間のマッチングの機会を提供してほしい

<関連用語の解説>

◆学校ゼロエネルギー化

学校施設において、エネルギー負荷の低減を図るとともに最低限必要なエネルギーを創エネ・蓄エネ等の技術で賄うことで、年間のエネルギー消費を実質上ゼロとする取組みのこと。

◆エコスクール

環境負荷の低減や自然との共生を考慮した学校施設を整備し、環境教育の教材として活用するもの。これにより、学校が児童生徒だけでなく地域にとっての環境・エネルギー教育の発信拠点になるとともに、地域における地球温暖化対策の推進・啓発の先導的な役割を果たすことが期待できる。

◆ゼロカーボン

企業や家庭から排出される二酸化炭素（CO₂）やメタン（CH₄）をはじめとする温室効果ガス（カーボン）の排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、排出量の合計を実質的にゼロにすること。

◆エリアマネジメント

特定のエリアにおいて、市民や民間事業者等が主体となって、まちづくりや地域経営（マネジメント）を積極的に行う取組みのこと。

◆PFI-BTO (Private Finance Initiative – Build Transfer Operate)

公民連携による公共施設の整備・管理運営手法の1つ。民間事業者が資金調達を行い、民間事業者の経営能力・ノウハウを活用し、民間事業者が施設を建設（Build）した後で、施設の所有権を市に移管（Transfer）したうえで、施設の管理運営（Operate）を行う。

◆DBO (Design Build Operate)

公民連携による公共施設の整備・管理運営手法の1つ。公共が、起債や国庫補助金等により自ら資金調達し、民間事業者が施設の設計（Design）建設（Build）した後、管理運営（Operate）を行う。

5 今後の予定

対話で頂いたアイデア、提案等に加え、今後予定している地域の方々との意見交換会等でいただいた意見を、基本構想（案）の検討に活かしていきます。

つながる・まなぶ

発行:横浜市財政局ファシリティマネジメント推進課
意見交換会1 開催記録

豊岡町複合施設

をかんがえる

地域のみなさまと初めての意見交換会(ワークショップ)を開催しました。当日の様子などをお伝えします。



当日の様子について

今回のワークショップでは、鶴見区にお住まいの方、又は在勤・在学の方の計30名が参加され、活発な意見交換が行われました。

3つから4つのグループになり、豊岡地区周辺の公共施設の現状と今後について課題だと感じていること、複合施設での魅力的な過ごし方、使い方などについて議論が行われました。

最後には全体で議論した内容を共有し、ワークショップを終えました。

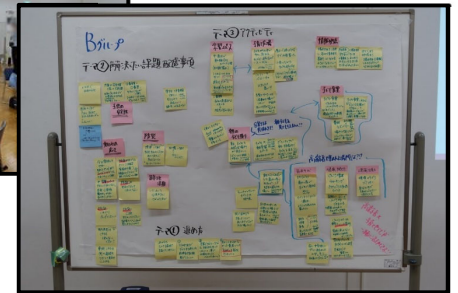
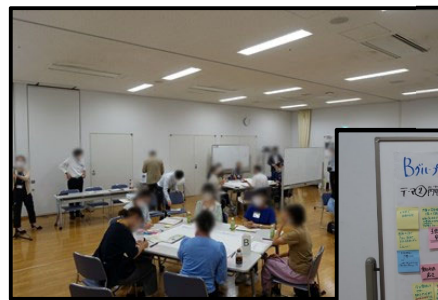


写真 ワークショップの様子

1回目

2回目

開催日	令和5年5月21日	令和5年5月27日
会場	鶴見中央コミュニティハウス	鶴見公会堂
対象者	子育て世代 12名	幅広い世代 18名
グループ	3グループ(各4名)	4グループ(各4~5名)

当日の流れ

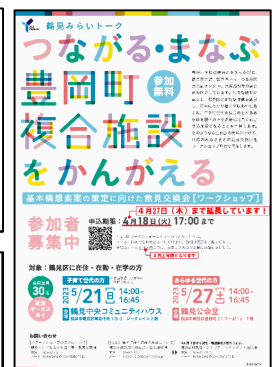
開会のご挨拶
事務局からの説明
グループ討議(前半)
休憩(10分間)

各グループワークのテーマ

- ①こどもの豊かな学びを得られる場所とは?(1回目)
- おとなの豊かな学びを得られる場所とは?(2回目)
- ②居心地の良さを感じる場所とは?
- ③住み続けたいなるまちとは?(1回目)
- 地域や人とのつながりが生まれる場所とは?(2回目)

グループ討議(後半)
発表・講評
事務局からの
お知らせ・閉会

- ①プロジェクトの進め方について
- ②解決したい課題、配慮すべき事項
- ③アクティビティ (どんなことができると良いのか)



ご意見

まちづくりについて

◆こどもの豊かな学びを得られる場所とは？

- ・眺めるだけではなく、休んだり、子どもを自由に遊ばせられる芝生などの緑がある場所は魅力的だ。
- ・未就学児には親も一緒に行き、目の届く範囲で自由に遊べる場所、小学3年生以上には大人が目があって子ども達だけで行っても安心な場所があると良い。子どもを自宅で遊ばせておくことができない共働き世帯にとって、子どもだけで安全に過ごせる場所があるのはありがたい。
- ・中高生まで利用できる場所がないので、そういう場所があるとよい。
- ・子どもが安全に遊べるかというのは、居心地の良い空間の条件として重要な点の1つである。子ども達だけで行く施設には、親に入退出通知が来るシステムがあると安心だ。
- ・子ども食堂では、食事を提供するだけでなくボランティアさんが子どもたちに色々教えてくれるのがよい。

◆おとなの豊かな学びを得られる場所とは？

- ・市民の知を底上げしたり生涯学習のための知の拠点となるおとなの豊かな学びを得られる場所はないので必要だと思う。

◆居心地の良さを感じる場所とは？

- ・鶴見は学校、家庭、地域が支え合うコミュニティが形成されているので、その特色を活かしていきたい。人とのつながりがあることが居心地のよい場所には必要だ。
- ・商業的な施設だけでなく、目的がなくてもゆっくり過ごせる場所がほしい。
- ・駅前や街中には緑や自然公園がない。緑や川など自然を感じられる場所は居心地が良いと感じる。

◆住み続けたくなるまちとは？

- ・在宅ワークが進み、住むまちへの関心が高まっている中で鶴見が選ばれるためには、先端医療の充実、魅力ある教育環境、大人も子どもも遊べるリゾート性が重要だと思う。
- ・駅周辺の環境が充実していることや大人が利用しやすくなる施設があることがまちの魅力につながる。
- ・年齢の異なる子ども達の遊び場や気軽に健康チェックができる場所がある施設があるとよい。
- ・鶴見川のごみ拾いなどの環境活動や高齢者などの地域住民とのつながりを通じて、住み続けたいまちを自分たちでつくっていけるとよい。多世代交流は子どもの成長の機会にもなる。
- ・鶴見には外国人や地方からの居住者が多い。異なる文化を持つ人や障がいのある人など、多様性を受け入れて、理解し合う共生社会を目指したい。そこから鶴見らしさが生まれ、子ども達の視野も広がるとよい。
- ・鶴見には外国人が多く、豊岡小学校児童も外国人が1割はいる。日本人も外国人も子どもから大人まで多文化に触れることができ、一緒に学び経験することで互いの価値観を知り、違いを認めながらも自然と交流が生まれるようにしていきたい。日常的な交流があれば災害時にも役立つだろう。
- ・鶴見駅東側エリアのように、西側エリアもアート作品などのモニュメントなど芸術に触れることができる環境をつくっていきたい。新たな施設は、鶴見、豊岡地域の文化・芸術の発信拠点になればよい。
- ・防災や治安の面で、安全に住めるまちであることが大事だ。

既存施設の課題

■豊岡小学校

- ・豊岡小学校の校庭は狭いため、体育の授業などが重なる場合は、佃野公園を利用して不便である。
- ・コロナによって以前より子ども達が外で遊ばなくなったが、家でゲームをするのではなくもっと外遊びをさせたい。校庭は外で遊ぶための有効なスペースだと思うので、広いグラウンドを確保できると良い。
- ・小学校は、教育支援などの体制が弱く、不登校の親子が孤立しやすい環境となっている。
- ・学校の授業などで地域の人たちの力を借りたいが、個人情報や防犯面の観点から人材はいても実現が難しい。戦争体験話や浴衣の着付教室を地域団体が子どもたちに教えてあげるなど、まち全体で子どもたちを育てられる仕組みがあるとよい。

■鶴見保育園

- ・園庭は運動会をするには狭く、小学校のグラウンドなどを予約できないと運動会が開催できない状況だ。
- ・保育園には読み聞かせのカリキュラムがない。

■鶴見図書館

- ・鶴見図書館は座れる場所が少ない。座る場所を充実させて、ゆっくり滞在できる様になるとよい。
- ・鶴見区は人口に対しての蔵書の割合が低い。本を借りたり調べものができる図書館の存在を知らない小学生もいる。また、高齢者は図書館まで行くのが大変な人がいるため、地区センターや駅の出張所などで貸出や返却ができたり、レファレンスサービスがあるとよい。
- ・図書館はハード整備だけでなく、運営のコストもかかる。図書館に使う予算が少ないため充実してほしい。

既存施設の課題(つづき)

■つるみ区民活動センター

- ・現在の区民活動センターはあまり利用されていないので、複合化する必要はないと思う。
- ・特技を地域に活かし貢献したいと考えている人材は多くいると思う。生涯学習ボランティアの鶴見人ネットなど登録制度は整っているものの、どこに働きかけてよいのかわかりにくく、うまく活用できていない。
- ・現在の区民活動センターは入りづらいので、気軽に入れる様に敷居を低くすることが重要だ。

■放課後キッズクラブ

- ・放課後キッズクラブは、外国籍の子ども向けのクラスはない。外国人の子どもの放課後の居場所づくりが課題である。保護者が日本語を学べる機会も必要である。
- ・豊岡小学校付近に児童館があるが、子どもを預かる程度の機能で勉強や学び、運動や遊びはあまりできない印象である。地域に子育て支援の機能が少ない。

■その他公共施設

- ・似たような施設でもいろいろな名称がついており、誰を対象にした施設なのかわかりづらい。
- ・トイレがきれいな施設は人が集まる。父子では利用できないトイレもあるので、だれでもトイレが複数あるとよい。
- ・踏切を渡らないと公園に行けないので、子どもだけでも安心して遊びに行かせられる公園が近隣にあるとよい。
- ・地区センターはオセロやトランプなどを無料で貸し出しており、雨天でも卓球やバドミントンなどで利用できる。無料だったり少額で利用できる場所は子どもの遊び場として魅力的だ。
- ・ハーモニーとよおかの時間貸しスペースは、利用料がかかるので少人数で使う際には負担が大きい。
- ・学生が放課後に過ごせる場所が少ない。お金を払わずとも過ごせるような場所が必要である。

複合施設のあり方

◆期待すること

■モデルとなる施設

- ・プロジェクトを成功させて、図書館などの公共施設のモデルとして他地区へ広げ、横浜市全体を住みたいまちにできるとよい。今までにない、斬新で、他に真似されるものができることとよい。
- ・駅近くという利便性の高い立地を生かし、豊岡町ならではの施設になるとよい。学びの場、憩いの場を提供することでたくさんの方が訪れることに期待したい。

■複合化による効果

- ・図書館と学校図書室が一体化されると、小学生の学びにもつながるので魅力的だ。
- ・保育園と学童が隣接し、連携できるようになれば、保育園時代に慣れた先生に見てもらえるので安心だ。
- ・複合化されることで放課後にもにぎわいがある施設になるとよい。
- ・図書館、区民活動センター、スポーツ機能などを複合化し、様々なイベントや取組みを通して、利用する機会を増やすことで、複合施設を訪れるきっかけとなればよい。
- ・多国籍、多世代、障害者、産後の母親などの交流の場を設け、孤立などの問題を未然に防げるとよい。1つの施設で対応する方が効率的で効果的だと思う。
- ・大人も子どもも利用でき、どの世代も学びたい人が学べる複合施設になるとよい。
- ・低学年でも歩いて通えるため、小学校の近くに図書館があるのはよい。親子の待合せができる場所にもなる。
- ・教育の充実につながるとよい。

■機能の充実

- ・放課後キッズクラブを利用する子どもが多いためスペースが不足している。複合化によって広くなるとよい。
- ・区民活動センターを民間委託にすることで、夜間や休日などもオープンするなど使い勝手が良くなるとよい。

■交流の促進

- ・外国籍の親子の居場所が少ないので、外国の文化も取り入れ、グローバルな要素のある施設となればよい。多文化共生、多文化交流が促進することに期待したい。
- ・あらゆる世代が共通の関心事を通して共有の空間を過ごすことで、いつの間にか交流できる施設になるとよい。
- ・小学生が取組みや活動を発表したり、子どもたちが大人の活動を見たり、交流したりできる仕組みがあるとよい。
- ・各施設の取組みや活動が外からでも見えやすく、連携している複合施設でありたい。子どもがそれらの取組のなかから興味のあることを体験することで、様々な文化や世代の人に触れ、交流ができるようにしたい。
- ・各世代、立場に関係なく、誰もが施設を利用し、滞在できるようになるとよい。世代間交流が教育や地域コミュニティの醸成につながる。

■子育て世代への配慮

- ・共働き世帯が多い地域なので、共働きを前提とした計画にしてほしい。
- ・子育ては住んでいる場所で便利さが大きく変わるので、鶴見が魅力あるまちになるとよいと思う。

複合施設のあり方(つづき)

◆期待すること(つづき)

■環境配慮

・施設をZEB化するなど、高いレベルでの環境配慮を行うようにしてほしい。

■安全・安心

・鶴見区には子どもが安全に遊べる場所が少ないため、親が図書館など別の場所に行っている間に複合施設内で安心して過ごせるようになるとよい。地域の様々な世代の人が集まり、使用することが、防犯にもつながる。また、中高生の居場所もつくり、多くの大人の目が行き届くことで健全な育成につなげたい。

・行き慣れた小学校に色々な施設が入ることで、子どもがほかの機能をもつ複合施設にも一人で行きやすくなる。同じ施設内なので安全性も高まり安心感がある。

■商店街との連携、活性化

・様々な機能が複合化して多世代が訪れるようになれば、周辺の商店街に立ち寄り人たちも増え、商店街の活性化につながるのではないかと。

・複合施設をお祭りや地域の活動の場としたり、商店街のイベントなどを共同開催することで、子どもたちが地域や商店街に関心を持ち、施設を知るきっかけになるとよい。施設での活動がまちと連携することで商店街の活性化にもなり、施設の利用促進にもつなげたい。

■防災機能

・災害想定、地域状況などを勘案し、収容人数などの与条件を整理した上で、豊岡地区の防災拠点として整備できるとよい。隣接する福祉避難所との相乗効果も期待できる。

・周辺地域は戸建てを中心として高齢者が多いので、何かあった際に集まれる場所が必要だ。

・西口は東口に比べて滞留できるスペースが少ないので、帰宅困難者が緊急時に活用できる場になるとよい。

・津波の被害が心配なので、高さのある建物ができるとうよい。耐震性もしっかり確保した建物にしてほしい。

・災害時は、防災拠点としても使えると良い。防災備蓄やかまどベンチなどの設備は整備しておきたい。

■空間づくり

・椅子やテーブルなどを配置し滞在しやすくしたり、利用者に自然に行動を促すよう、動線などを工夫して利用をやすくしていきたい。

・特に目的がなくても滞在しやすい、幅広い層に対応できている施設になってほしい。

・誰もが行きやすくなるよう敷居を低くする工夫をして、居場所のない高齢者などが集まれる場となるとよい。

・小学校は関係者でないと入れないことが多いため、地域の人が併設している施設へ入りにくくならないか心配である。

・車いす利用者や障がいがある子どもも過ごしやすいくバリアフリーの施設にしたい。

・将来的な人口の増減などの社会状況の変化に対応できるように、広さや使用目的を変えられるフレキシビリティのある空間づくりや機能配置ができるとよい。

・将来、少子高齢化により小学校の教室が余ってしまうかもしれない。時代に応じて、スペースを使い分けしていける設えにしたい。

■地域人材の活用

・民間施設と複合化するのならば、地域の人たちの雇用の場をつくるなど地域資産を活用できるようにしたい。

・高齢者は、潜在的な力を持っている人がたくさんいるので、生涯学習や地域活動の活動場所が一体的になることで、高齢者の活躍の場が広がるとよい。

・様々な施設のプラットフォーム的な場とすることで、地域人材の共有がうまくできるようになるとよい。

■まちの課題解決

・西口の利便性の向上など、駅との関係にも配慮して整備してほしい。西口には駐輪場が不足しているので、駐輪場を確保することが考えられる。

■その他

・図書館の書籍などを通じて過去の人たちの知と繋がるなど、学びの場になるとよい。

・子ども達が家から外に出ていくきっかけとなる施設になるとよい。

◆懸念すること

■安全・安心

- ・建設も運営も子どもの安全を第一に考えて進めてほしい。大人目線ではなく子どもファーストで考えてほしい。
- ・不特定多数の人が出入りする施設と複合されると、小学校と保育園のセキュリティが不安だ。安全の確保とオープンな環境づくりとのバランスが難しい。
- ・防犯上、小学校と図書館の出入口は明確に分けて、地域も小学校も安心して利用できるようにしたい。
- ・セキュリティレベルを設定し、誰もが自由に入れるゾーンと入れないゾーンを明確に分けられるとよい。
- ・出入りにIDが必要な場所を設ける、出入口を別にする、壁で区切るなどのセキュリティ対策をしてほしい。
- ・顔認証、ICカード、自動入出時通知システムなどの最先端技術を活用して、セキュリティを徹底してほしい。
- ・複合化することで車利用者が多くなり、児童たちへの安全面が心配である。交通安全対策をしっかりとしてほしい。
- ・複合施設に外国人が多く集まることになったら、ゴミの出し方などマナーでの地域トラブルが増えないか心配だ。

■図書館の役割

- ・学校図書室と図書館は目的や位置づけが異なるので、機能を統合することは避けたほうがよいと思う。
- ・図書館は不登校児童が学校に行けなくても学べる場所になっている。複合化されると、小学校が隣接する施設に行かなければならず、居場所を奪うことになる。
- ・区内の図書館は足りてないので、複合施設内に図書館を作ったとしても鶴見図書館は残してほしい。建物はまだ使えると思うので大事にしてほしい。
- ・図書館運営に民間事業者が入った場合、本の仕入れが人気がある本に偏らないか心配である。
- ・図書館運営に民間事業者が入ると、利益重視で図書館の質を担保できなくなることが心配だ。民間事業者が頻繁に変わり、スタッフの質も様々になってしまうのではないか。図書館には図書館司書などのその分野のプロフェッショナルを配置すべきである。

■利便性の確保

- ・高層化すれば面積が確保できるかもしれないが、高層化すると移動が大変になり、使われなくなると思う。
- ・複合化により高層化すると、縦移動が主となり精神的に良くない。全機能でなくてもよいので、小学校、図書館などを分棟にするなど配慮してほしい。

■教育環境の確保

- ・教育の場である小学校の機能の維持と子どもの利益を一番に考えて、複合化によって学びを妨げることがない様に配慮してほしい。
- ・保育園の昼寝の時間に児童の声が聞こえたり、小学校のテスト中に園児の泣き声が聞こえたりして、互いの環境が悪くならないか心配だ。
- ・図書館は静かな状態が求められるので小学校との複合化は馴染まないと思う。
- ・小学生と保育園児が同じ場所で遊ぶのは危険だ。屋上でもよいので、校庭とは別に園庭を確保できると良い。
- ・子どもたちの学習、成育環境を守るために、工事期間中は別の場所に仮設校舎を設けてほしい。
- ・小学校に十分な面積を割くべきだ。機能を詰め込みすぎている気がするので、公共施設で面積がいっぱいなら、民間施設は不要だと思う。
- ・図書館の移転によって学校の面積が削られてしまうのであれば、学校としての機能の充実を優先させてほしい。
- ・小学校のスペースは今より狭くしないでほしい。身体を動かす点で問題がないようにしてほしい。
- ・保育園の園庭と小学校のグラウンドとの面積の取り合いになって、狭くならないか心配だ。
- ・グラウンドが狭くなるのであれば、隣接する郵便局や道路まで一体的に整備して面積を確保できると良い。

■民間機能

- ・昔ながらのお店が残る商店街は風情があり鶴見らしいよい雰囲気である。複合施設ができることで鶴見らしさを壊すことがないようにしてほしい。
- ・民間機能が入ることで、地域の個人店や商店街が商売を続けられなくなるようなことにならぬように、慎重に業者選びをすることが大切である。一緒に発展できるような事業者であるべきである。
- ・財政面だけを考えてマンションや企業などを誘致することは、複合施設の教育環境にそぐわない。
- ・住居を全て否定したわけではない。特別養護老人ホームなど色々な型で市民が滞在できる施設とする可能性はあると思う。
- ・民間機能が入る計画ならば、どのような施設をどのように決めていくのかを示してほしい。
- ・運営などを指定管理者とする場合は、質の良い事業者・NPOを選定してほしい。

■交流の場

- ・同じ活動に関心ある人などが交流ができる場があると、気の合う人と出会えたり情報交換ができてよい。
- ・外国人の母親などが孤立しない様に日本人も含めた多国籍の人が交流できる場がほしい。
- ・子育て世代が利用する施設が集約されるのなら、ここで親子サークルが開催できるとよい。無料や少額で利用できるとありがたい。
- ・豊岡小学校は、外国籍の児童が多いことから国際教室があるが、近年は定員オーバーで参加できないこともある。小学校と図書館が行き来しやすくなったり、コミュニティスペースが整備されることで、高齢者が外国人の児童に日本語やまちの歴史、勉強を教えるなどができるようになり、交流が生まれるとよい。
- ・保育園などで伝承遊びを教えているが時期が限られているので、年間を通して触れられる場所があるとよい。高齢者が子ども達に教えることで交流にもつながる。
- ・図書館単体では利用する人が限られてしまう。あらゆる世代に図書館を利用してもらいたいので、カフェや子どもたちを遊ばせる空間、食-遊び-本が密接に関わるような施設になると新たな交流が生まれると思う。様々な機能を隣接することで、図書館の敷居を低くし、行きたくなる工夫ができるとよい。

■休憩・憩いのスペース

- ・開放的なテラスや屋上、休憩スペースなどで、テイクアウトしたものを食べたり、川やアートを見ながらリラックスした時間を過ごせるとよい。
- ・リラックスして滞在できるようにカフェがほしい。高級志向ではなく、気軽に、普段着で使える、料金的にも高すぎない店がよい。
- ・憩える場やゆっくりと過ごせる場として、カフェがあると良い。図書館利用者や他の施設利用者が利用できるだけでなく、カフェだけでも利用しにくることで収益を生んでいけるとよい。
- ・図書館に魅力的なカフェがあると敷居が低くなり、図書館の利用を促すことにつながるのではないか。
- ・図書館のほか、生涯学習センター、子ども広場、芸術文化ホール、カフェなどの様々な機能があることで、子どもからお年寄りまでの多世代が安心して1日過ごせるようになるとうい。
- ・子育て世代にとっては、子どもが遊んでいるのを見守りながらカフェ利用ができたり、カフェで買ったものをテイクアウトして子どもの遊び場にもっていけるとよい。カフェが独立してあっても使い勝手が悪いので、子どもの遊び場と一体的に利用できるようにしてほしい。

■学びの場・活動の場

- ・大人が学び直したいときに利用できる場所であってほしい。夜間学校など教育コンテンツが夜間にもあったり、外国人の家庭が多いので、親が日本語を学べるとよい。
- ・子どもだけでなく、大人も趣味の活動などが行える場所にして欲しい。料理教室ができたり、運動場があるとよい。
- ・高齢化が進んでいるため、高齢者の活躍の場がないと日本は発展しない。子どもたちに昔の遊びを教えたり、関心のある講座に参加できるような高齢者のための生涯学習の場は必要である。
- ・料理教室や食育、街の人がお試してお弁当販売などができるシェアキッチンがあるとよい。学生や若者も関わったり、親同士のコミュニケーションの場になるとよい。

■子育て環境の充実

- ・親の出勤時間から登校時間まで子どもを預かってもらえる場所がほしい。高齢者が読み聞かせや伝承遊びを教えてくれたりできるとよい。
- ・子どもが熱を出しても仕事を休めない親もいるので、小学生も利用できる病児保育のような機能があるメディカルセンターが欲しい。
- ・児童書コーナー、子どもの遊び場、カフェ、コミュニティハウスなど、子育て世代が利用する施設は同じ場所にまとまっているとワンストップで利用できてよい。
- ・プレイルームやプレイリーダーのいる屋外プレイパークなど、子ども達が自由に遊び、昔遊びや屋外遊びを教えてもらえる場所があるとよい。
- ・近隣に公園が少ないので、子どもの遊び場や憩いの場として校庭を開放し、公園的に利用できるとよい。
- ・子どもの送迎ついでに手続きなどの用事が一つの施設で済ませられるよう、行政サービスコーナーがあるとよい。

■健康づくり

- ・地域住民が卓球、バドミントン、ダンスなどの軽い運動ができる場所が小学校の体育館とは別にあるとよい。
- ・健康は気になるがフィットネスジムに行くほどでもない時に、気軽に運動したり健康チェックできるとよい。
- ・地域の人たちや地域の子どもや若者たちの活動の発表の場としてホールのような機能があると良い。小学生や若者が地域の活動に触れる機会につながるし、地域の人たちも若者たちの部活動などの成果発表を観に来ることで多世代間がつながるきっかけにもなる。

■健康づくり(つづき)

- ・生涯学習や市民活動団体、様々な世代が利用できるよう、複数の貸しスペースや会議室があるとよい。
- ・区民活動センターは、市民がそこに行けばやりたいことが見つけられたり、市民活動グループなどとつながるような場所にしたい。活動グループの紹介などを行うことで、自分もやってみたいと思ったり、活動に参加するきっかけとなる拠点になるとよい。
- ・健康づくりを推進していきたい。学校のプールや体育館などを市民に一般開放し、団体でなく個人でも利用できるようにしてほしい。また、1回ごとに利用できるような気軽なスポーツ施設がほしい。
- ・スポーツやイベントのできる屋根のある施設が近隣にないので、週末や夜間などに小学校の体育館を地域開放できるとよい。
- ・小学校のプールを授業や水泳教室で利用していない時間帯は、リーズナブルな料金で地域に開放できるとよい。
- ・小学校のプールは通年利用できるように室内にしているかどうか。利用シーズンに限られるのに場所を取るのはいらない。室内プールにして冬季だけでも民間に貸し出しすれば、賃料が入るし維持管理もしやすくなる。

■学習支援、中高生の居場所

- ・塾に行けなかったり、自宅が狭くて勉強する場所を確保できない子どももいると思うので、学習支援ボランティアがいる学習スペースがあるとよい。教育格差を抑えることにもつながるのではないかな。
- ・中、高校生は無料で勉強ができる場が少ないので、私語禁止の勉強スペースがあるとよい。
- ・地域に中高生の居場所がないので、学習スペースのほか、卓球などの運動ができる場所があるとよい。

■学校図書室の充実

- ・学校図書室では、鶴見に関する資料をまとめたコーナーを充実させてほしい。
- ・学校図書室は、子どもが楽しみ、くつろげる空間になるとよい。子どもの目を引くデザインにして、堅苦しい家具ではなく、ソファやクッションなどを取り入れたい。

■教育環境の充実

- ・児童が保育園の先生や図書館司書になるなど、小学校と保育園、図書館が連携した職業体験ができるとよい。
- ・地域の高齢者が小学校や図書館で読み聞かせを行うなど、コミュニティとのつながりがあることを活かした教育環境の充実をはかるとよい。
- ・校庭は、全校生徒がのびのびと走ることができ、授業に支障のない広さがほしい。
- ・学校のカリキュラムや設備を魅力的にしたり、多様性を考慮し、児童の特性に合わせた教育のオーダーメイド化ができるとよい。
- ・コロナの時のように、どんな状況によっても子どもの学びが維持できるよう学校授業のデジタル化はより充実していきたい。IT環境を充実させることで、先生の労力の省力化が期待できる。

■相談窓口

- ・相談と紹介に特化した障害福祉のワンストップ窓口を設置し、継続的な支援ができるようにしてほしい。障害者が働けるようになれば社会にも貢献できる。

■図書館の魅力向上

- ・鶴見が住みたいまちになるための魅力づくりとして、本を借りやすくし、図書館の利便性を向上させたい。
- ・多文化や多様性を学べる書物を充実させ、異文化を知り、助け合いが生まれる機会を作る場として図書館を活用したい。
- ・図書館は、市民の知を底上げし、生涯学習などの知の拠点である。図書館司書などの専門性のある職員を配置し、外国の本やアカデミックの蔵書を充実させ、大学などと連携して検索システムを構築したり、新聞や論文、有料のデータベースも検索できるようになればよい。
- ・閲覧スペースや子どもの学習や大人の作業の場となる自習室の広さを充実してほしい。
- ・席の配置に配慮してほしい。窓側にカウンター席があると気分がよく、集中できる。
- ・図書館には、学習ができたり、音楽室、料理室、生涯学習支援、子育て支援(児童コーナー、遊び場)の機能を併設できると良い。
- ・子どもの遊び場と児童書コーナーを一緒にして、子どものスペースはまとめてほしい。また、今の子どもは読書よりも見て学ぶことが多いので、メディアルームがあるとよい。
- ・地域の商店街の参考になるよう、商店街活性化や経営、起業に関する本を集めた書籍コーナーがあるとよい。

複合施設で行われるアクティビティ(つづき)

■図書館の魅力向上(つづき)

- ・絵本コンシェルジュとして図書館スタッフが保育園をまわり、アウトリーチするなど、図書館の存在をまず知ってもらい、その後に施設の利用を促すようにしたい。
- ・社会情勢や自分の思考を深めるための講演会などの企画を実施するなど、生涯学習の機能を図書館にも取り入れたい。図書館司書と連携してプログラムを企画するなど大人の豊かな学びを得られる知の拠点となるとよい。
- ・図書館でも趣味の活動などが行える場所があるとよい。子どもと大人と一緒に学ぶことができるタブレット講習会やIT講習会をしたり、認知症の人が本を紹介する機会を提供するなど療養にも役立つ図書館になるとよい。
- ・インターネットで調べるだけでなく、中高生も図書館に来て、資料へのアクセスの仕方を学んでほしい。ビブリオバトルなどが行えたりすると良い。

■子ども食堂

- ・子ども食堂をやりたい、支援したい人はいるが場所がないと聞いた。利用希望者は多いが現在ある施設は狭いので、子ども食堂ができるとよい。
- ・ハマ弁食堂として、子どもだけでなく高齢者にも食事を提供したらよい。
- ・調理するのは大変なので、料理は商店街のお店から提供してもらい、食事するスペースだけを作ってはどうか。

■イベント開催

- ・グラウンドで地域の祭りなどを開催し、豊岡の魅力を発信することで地域を盛り上げたい。祭りやイベントの運営スタッフとして子ども達も関わるとよい。
- ・古着や子ども用品などのフリーマーケット、季節ごとのイベント、農作物のマルシェ、工作づくりなどが開催できる場所があるとよい。

■防災拠点

- ・災害時は、小学校だけでなく複合施設全体を指定避難所として、更衣室や個室などを設け、避難生活時の滞在環境を充実させたい。蓄電池や太陽光などのエネルギー設備を整備し、防災拠点としての機能の充実を図りたい。

■商店街・地域との連携

- ・近隣の商店街と連携し、一緒にマルシェやイベントなどをすることで商店街を知ってもらい、商店街活性化につなげたい。また、そうすることで、定期的に施設を利用するきっかけにもなるだろう。
- ・花火大会やお祭り、マルシェなど、広場やグラウンドなどで地域の様々なイベントができれば、子どもや学生たちが街の活動に関わって地域連携もできてよい。
- ・商店街と連携し、小学生を対象に職業体験などができると面白いのではないかと。
- ・オフィスでの仕事が主流ではなくなっている。地域で仕事ができるコワーキングスペースと、商店街などで起業できるような起業支援とセットで整っているとよい。
- ・子どもの集まる場所とは離して棲み分けし、大人もワークスペースとして利用したい。
- ・地元の企業や地元の商店など、地元のものを活用してほしい。

■情報提供

- ・WEBでは情報がバラバラで見づらいので、市内で行われるイベントや市の情報を集約し、世代や地域ごとに整理した掲示版を設置してほしい。
- ・様々な情報にアクセスできる窓口があるとよい。
- ・外国人や障害者に、生活情報、自立を支援する施設やプログラムの情報などが届いておらず、地域から分断されていると感じている。情報を取りに来てもらうのではなく発信者が積極的に伝えていく必要があると思う。

■その他

- ・鶴見には街を見渡す場所が少ないので、展望できるようにしてほしい。
- ・安全面に配慮した上で、車でアクセスできるように駐車場がほしい。
- ・駐輪場を確保してほしい。

プロジェクトの進め方について

■住民参加の場

- ・計画内容がもう少し具体的になった段階で、配置のあり方など区民も参加して話し合う機会があると良い。
- ・意見交換の場やワークショップをもっと開催すべきである。意見を吸い上げた上で、さらにテーマごとにアイデアを盛り込んで計画にまとめるとよいと思う。
- ・ワークショップに参加しなかった人やできなかった人の意見を集める機会があると良い。文書で意見を受け付けるなど、広く意見を集めてほしい。

- ・計画期間が10年程だとすれば、時間的余裕もあるはずなので、もっと色々な形で地域の意見を聞いてほしい。
- ・横浜市が市民の意見を聞いてそれをまとめるのではなく、自分たちの意見だと納得しながら進めていきたい。鶴見区の市民が主導する意見交換会の場として豊岡小学校の建て替えを考える市民会議を、市民主催で立ち上げる必要性を感じている。

■住民参加の場(つづき)

- ・現在の図書館や将来できるであろう図書館について考える市民の会や、市民が意見を述べる事ができる図書館協議会を設立してほしい。
- ・小学生や図書館利用者など、それぞれの施設の利用者だけで集まり未来を語る場があるとよい。
- ・図書館、小学校、保育園など複合化する施設(テーマ)別に意見を聞く機会を設ける方法もあるのではないか。
- ・今回のようなワークショップに来るのはハードルが高く、強い意見を持っている一部の人がばかりが集まりやすい。イベントに合わせて気軽に意見を聞くような機会があると、地域の平均的な意見が集められるような気がする。

■意見を聞く対象

- ・小学校や子どものための施設が入るのだから、子どもの目線になって考えることが大切だ。アンケートやワークショップなどを通じて、子ども達の考えや興味があること知る必要があると思う。
- ・大人の視点ではわからないこともあるので、施設を使用する当事者である小中学生にも意見を聞くべきである。
- ・子どもの意見なども取り入れて、必要な施設について優先順位をつけて進めてほしい。
- ・小学校や保育園の先生、図書館職員などの現場の意見も聞いて進めていくと良い。
- ・小学校、図書館、保育園、区民活動センターの利用者ごとにワークショップを開催してほしい。
- ・市民の意見としてまとめるのに、子育て世代のみでワークショップを行うのは、市民を分断していると思う。子育て世代だけでなく高齢者の声もあるとよいと思う。

■前提条件

- ・そもそも複合化することが前提になっていることに疑問を感じる。複合する機能もなぜこの機能で決まったのか理由や説明が足りないので、納得はできていない。
- ・複合化ありきではなく、子ども達にとってベストとなるのは何かという視点で進めてほしい。
- ・複合化する際に、民間事業者が入ることについて聞いていなかった。理由をきちんと示してほしい。
- ・なぜ区民活動センターが複合化対象なのか知りたい。
- ・市民と行政との間に知識量の差がある。もう少し勉強をした上で検討したいので、複合化する理由やそのために必要な知識をきちんと提供してほしい。
- ・図書館の跡地は公共的な場所として活用できるとよい。複合施設に入りきらなかった案は、図書館の場所で実現できるとよいと思う。
- ・今の小学生はコロナの影響を受けた世代なので、今の子ども達が不利益を被ることがないようにしてほしい。

■情報発信

- ・今回のワークショップは参加者が少なかった。開催案内の情報発信の仕方をもっと工夫してほしい。学校、園を通じた発信は必要だ。
- ・今回のワークショップが周知がされておらず、知人から聞いて初めて知った人が多かった。もっと一般人にも知ってもらえるようにした方がよい。
- ・SNSを活用して、今回のワークショップの成果を公表するなど、計画に関する情報発信を充実させて、区民が作り上げたという当事者意識を育むことが重要だ。
- ・今後もこの計画の動向に興味があるので、進捗状況などについてきちんと知らせしてほしい。過程の公開が重要だ。ワークショップ参加者のSNSグループを作ることも考えられる。
- ・施設完成後には、ここでどんな活動やイベントができるかを広く伝えるための情報発信が必要だ。
- ・HPに特設コーナーをつくり、ワークショップの報告を市民の情報発信してほしい。進捗をわかりやすく伝えてほしい。

■意見反映

- ・ワークショップで出された意見がきちんと反映されるのかという懸念がある。盛り込めなかった意見については、できなかった理由を教えてほしい。
- ・行政側で難しいと判断したアイデアがあった場合は、別の策を住民が改めて考える機会があるとよい。
- ・ワークショップの意見は、どう計画に反映させていくのか示してほしい。意見に対するフィードバックが欲しい。
- ・複合化のデメリットをどう解消・対応するのか説明してほしい。

■計画期間

- ・計画策定に10年かかると、その間に現在の想定が変化している可能性もあるので、もっとスピード感をもって取り組む必要があると思う。
- ・今がどの段階なのかがわからないので、計画の進捗状況を知りたい。

■その他

- ・図書館は、近年、全国的に明るく、開放的な憩いの場としてイメージチェンジをしている。近年つくられた図書館を参考に複合化を検討できるとよい。先進的な図書館や図書館機能がある複合施設などの事例を共有してほしい。
- ・現在、放課後キッズクラブは定員オーバーで、施設面積が足りない状況である。小学校の建替え期間は、放課後どこで児童たちが過ごすのか心配である。
- ・公費のことも考え、施設は資源だと思うので、無駄にならないようにしてほしい。
- ・小学校の建替えではなく、鶴見区全体の問題という認識で検討を進めてほしい。

以上

(仮称)豊岡町複合施設再編整備事業

発行:横浜市財政局ファシリティマネジメント推進課
意見交換会2 開催記録

基本構想(素案)の策定に向けた意見交換会

当日の様子など
をお伝えします。

当日の様子について

豊岡小学校保護者のみなさま、地域のみなさまとの意見交換会を開催しました。
今回は開催前に、市ホームページにて公表した資料「基本構想(素案)策定に向けた考え方について」を中心に、複合施設のコンセプトや機能などについてのご意見を伺いました。
また、ファシリテーターを介したディスカッション形式で行ったことにより、深掘りされたご意見を参加者のみなさまと共有することが出来ました。

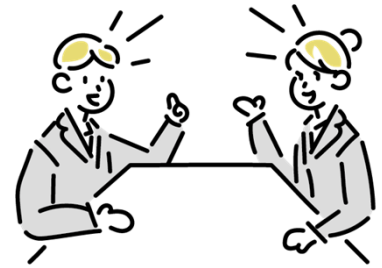
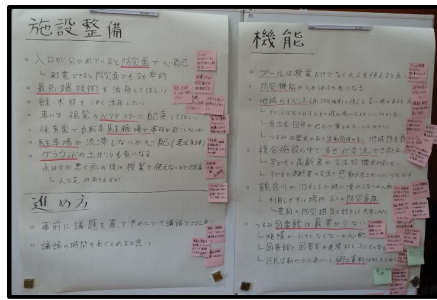


写真 意見交換会の様子

1回目

2回目

3回目

開催日	令和5年10月28日	令和5年10月29日	令和5年11月2日
会場	豊岡第2第3会館	鶴見区役所6階会議室	ハーモニーとよおか
対象者	豊岡小学校児童保護者、豊岡小学校の学区在住 豊岡地区、鶴見中央地区在住、豊岡商店街協同組合など周辺商店街の事業者の方		
人数	11名	5名	8名

当日の流れ

開会のご挨拶
事務局からの説明

※資料「基本構想(素案)策定に向けた考え方について」

ディスカッション

まとめ
事務局からのお知らせ
閉会

1. 事業の目的
2. 複合化を検討する施設、規模
3. 整備スケジュール
4. 複合施設のコンセプト (目指す姿)
5. 機能の考え方
6. 施設整備の基本的な考え

1. コンセプトについて
2. 機能について
3. 施設整備について
4. その他一般的に聞きたいこと



ご意見

コンセプトについて

- ・多文化共生の実現には、外国籍の子ども・大人が受け入れが重要だと思う。
- ・わくわくするコンセプトだと思う。
- ・先端技術導入による話題性や効率化などを意識すると良いと思うが、近未来的なものというよりは地場資源の活用や温かみのある自然志向の施設であると居心地が良い。
- ・かつては子どもと老人が交流できる機会を商店街が担っていたが、多様な人が同じ空間に同居することも大切。
- ・子育てを応援していくというコンセプトには共感するので、地域が盛り上がってくれと嬉しい。
- ・ZEB化など環境的な視点を意識し、全国から視察が来るくらい先進的な施設になれば誇りが持てる。
- ・複合化反対の意見や、図書館跡地の利用を国に勝手に決められないかなど、地域に様々な意見や不安があるが、本事業によって地域が分断しないかが心配。
- ・上級生が下級生を世話をするだけでなく、地域が子ども達を支えるなど、「つながる」コンセプトのもと「開かれた学校」として地域とつながり、子どもの豊かな成長を支えてもらえると嬉しい。
- ・新しい取り組みなのだから、学校建替えをきっかけに人口が増えるなど、まちづくり・活性化につながると嬉しい。
- ・地域にどう関わって欲しいかを議論するための参加機会や、コーディネーターなどが議論をリードすることが重要ではないか。

機能について

◆ これからの地域に必要な機能

- ・卓球やバドミントンなど公園などの代わりに雨でも子どもたちが遊べるような場があると嬉しい。
- ・福祉に関しては専門的な支援や情報が必要だが地域に足りておらず、本施設に専門的な情報があると安心できる。
- ・プールは民営化するなどして、施設を有効に活用できると良い。
- ・プールの授業は学校の先生の負担も大きく、教育面においてもプロの指導員に教えてもらえると嬉しい。
- ・かつての鶴見会館で行われていた賀詞交歓会など、地元諸団体の交流イベントを再び地元で開催できるようにすることで活性化につながることを期待している。
- ・鶴見の郷土資料を電子化し長期に渡って保存できるとよい。
- ・小さい子どもでも安心して向かわせることができるよう、皆が集まるための施設が豊岡地域内にあると嬉しい。
- ・障害児・医療ケア児などにも配慮されている学校だと嬉しい。

◆ 民間機能について

- ・商業施設を導入するのが難しいのではないかと客観的に予想している。
- ・民間施設は財政的にも重要だと理解するが、民間施設の規模によっては、施設全体のコンセプトにも影響があるので、その規模感も含めて議論したい。

◆ 機能の必然性

- ・私立保育園が既に多く立地しており、今後人口が減ると公立保育園が不要になる心配もあるので、将来の需要を見越して計画することが大切だ。
- ・具体的なイメージがわからないため、狭い敷地に盛り込みすぎるのは不安。

◆ 子育てに対する不安

- ・何かあった時に子どもが逃げ込める拠点や機能があると安心。
- ・鶴見保育園が移転することで、子どもを預けられる場所がなくなるのではないかと不安。
- ・鶴見保育園側の親にとって保育園が遠くなることは不便。

◆ 複合化に対する配慮事項

- ・教育を中心とした方が妥当に感じるため、カフェ・ジムなどは違和感を覚える。
- ・小学校を中心に考えると、鶴見中学など教育を中心に考えた方が相性が良いと感じる。
- ・複合化で小学校と中学校を一緒にした方が親としても安心であり、複合化する施設としても馴染みが良いと感じる。
- ・鶴見中学校には魅力がなく建物も古いため、鶴見中学校こそ複合化の対象としたほうが複合化の理由として納得できる。
- ・気軽に図書館を使えることは利点だが、小さい子どもが図書館に行かなければならないことになること危しい、学校図書室ならではの機能は必要なので、複合化で学校図書館が縮小することは問題。

機能について(つづき)

◆複合化に対する配慮事項(つづき)

- ・複合化が主目的になって小学校の建替えがなおざりになることを懸念しており、事業名称も「豊岡小学校建替えに伴う複合化」などに変えるほうがよい。
- ・小学校建替えが主たる目的であるなら、小学校の建替え計画で余った容積を複合化に充てればよいはずで、複合化を進めることに至った経緯や目的が曖昧だ。

- ・小学校は、単に広さを確保するというだけでなく、子どもが安心して生活できるかが重要だ。
- ・複合化の内容より、学校がどうなるかをより重視したい。
- ・小学校と民間の複合化にどんなメリットがあるのか知りたいので、事例などを示して欲しい。

施設整備について

◆施設のハード面について

- ・狭い敷地に様々な機能を入れるとグラウンドが減ってしまうのではないかと心配。
- ・高層化には不安があるので、建物が何階建てになるのか知らせて欲しい。
- ・車椅子・視覚障害・高齢者などに配慮し、バリアフリーで誰でも使いやすい施設であってほしい。
- ・駅から近く高度利用が可能な地域の特性を活かして、高機能な施設になると嬉しい。
- ・他の参加者の意見を聞いて、安全やセキュリティへの配慮が強く求められていると感じた。

◆防災について

- ・防災拠点となっている小学校が高層化すると、高齢者が避難場所まで避難できるか心配。
- ・セキュリティの区別と避難動線などの防災計画を成立させることは難しいと推察するが、非常時の使いやすさと普段の管理のしやすさが両立できるかが心配。
- ・発電機能など、防災機能が初めから備わっていると安心。

◆近隣住民の生活環境への配慮

- ・グラウンドの砂が舞うのは近隣住民として好ましくない。

◆交通安全や車・自転車などに対して

- ・商店街は人通りも多く一方通行なので、駐車場の待ち行列が出来てしまわないか、駐輪が溢れないか心配。
- ・施設ができることによって駐車場や駐輪場が溢れかけり、交通渋滞が起こらないか心配。

◆工事中の懸念

- ・工事中の安全など子どもへの影響が心配なので、仮校舎を隣接中小学校敷地で整備し工期を短縮できるとよい。
- ・工事中については、騒音に配慮するなど綺麗ごとが書いてあるので、本当にできるのかかえって心配になる。
- ・工事期間中の騒音などへの配慮は具体的にどう実現可能なかを示してもらわないと言葉だけでは不安。
- ・いながら工事では騒音により学習環境が担保されるか心配。
- ・工事中の防災拠点は確保されるのか心配。

その他一般的に聞きたいこと

◆プロセスについて

- ・自分の意見がどう反映されたのか、あるいはなぜ反映されないのかを知りたい。
- ・利害関係者を絞って、小学校に直接関係のある我々に意見を聞いて欲しい。
- ・事前資料を見て参加する、何を言いたいか事前に提出するなど、もっとたくさん議論ができると良い。
- ・議論をテーマ別にしたリ、事前に意見を求めてそれに対して議論するなどして、なるべく議論の時間を取りたい。
- ・少人数のグループディスカッション形式にすることで、理解が異なる参加者とたくさん議論がしたい。

- ・小学校の具体的な計画や姿について見えないこともあり、今は何を議論をすればよいのかプロセスがよく分からない。
- ・計画の具体的な内容が未だ示されていないため、現段階で何を意見すればよいか分からない。
- ・このような市民との対話の場で、誰に向けて何の目的で何を議論するのが不明瞭なため困惑する。
- ・具体的な施設の内容に対して意見を述べたい。
- ・予め議論の内容を考えたいので、会議の目的が明確であることが大切だ。

その他全般的に聞きたいこと(つづき)

◆事業の進行について

- ・老朽化した今の小学校では不安なので、建替えを早く進めるなどしてほしい。
- ・情報発信は「早めに」「具体的に」してもらえると嬉しい。
- ・公表されてから2年も経つが、事業の情報発信が足りていないと感じる。

◆目的の明確化

- ・様々な機能を盛り込むことや高層化することが、かえって行政や財政の負担になることがないか心配。
- ・複合化の目的には結局のところ財政面の事情があるようなので、そう書いてもらったほうが納得できる。
- ・財政面からも複合化が必要だということを明確にすることが重要だ。

◆様々な立場の声

- ・周辺住民としては、本件の動向は非常に気になる。
- ・小学校に通っている保護者や当事者の、現場の生の声をもっと伝えたい。
- ・学校の中で起こる問題などについて先生の意見を聞きたい。
- ・ワークショップ参加者だけでコンセプトをつくったというが、参加者の範囲が広すぎるため、利用者となる人から十分に意見を聞くなどの配慮が必要。

以上

(仮称)豊岡町複合施設再編整備事業

「基本構想(素案)策定に向けた考え方」に対する意見募集の実施結果について

ご協力ありがとうございました。



5月に実施したワークショップのご意見などを踏まえて作成した標題の資料について意見募集を行いました。また、本事業について期待することや配慮してほしいことなどのご意見もいただきました。実施結果を整理し、まとめましたので、ご覧ください。

いただいたご意見は、基本構想(素案)の策定にあたり参考とさせていただきます。



実施期間	令和5年10月20日から11月10日まで
応募件数	20件(豊岡地区、鶴見中央地区在住の方19件、その他地区(区内)の方1件)
関連イベント	基本構想素案の策定に向けた意見交換会(意見交換会2) 意見募集実施期間中に、豊岡小学校保護者の方および地域の方との意見交換会を開催しました。その開催記録も、ぜひ、ご覧ください。 掲載URL: https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/fmsuishin/facility-management/toyooka/toyookacm.html

ご意見

◆事業の内容について

■目的の明確化

- ・生活の不安を抱えている子ども達や子育て世帯が安心できるように、「ここに来れば大丈夫」という明確なメッセージを出してほしい。
- ・何に困っているか、何を先に解決しなくてはいけないのか、きちんと考える必要があると思う。
- ・敷地の狭い小学校に複合化することで、子どものための施設を減らすのは反対だ。
- ・小学校は老朽化しているので、安全面でも建替えが必要だと思うが、複合施設にする必要性を感じない。
- ・基本的には賛成。都会の駅前で限られた中で様々な機能を含む施設を建設しなければならないこと、そこで複合型にすることに異論はない。
- ・豊岡商店街の活性化や中高生の勉強の場の要望があるようだが、このプロジェクトで解決できない内容と思う。
- ・複合施設にすることは反対。
- ・「なんのために複合施設再編をするのか」の目的・テーマが希薄な内容と感じる。老朽化を更新するだけにならないよう、「豊岡町の将来、100年先」を見据えたビジョンを明確に提示し、取り組んでほしい。

■コンセプトについて

- ・言葉の問題で学校活動や町内会活動に加わる方が少ないので、外国籍の方が日頃からコミュニケーションを取れる交流の場ができるとよいと思う。
- ・色々な年代が通える場所になると、新たな交流が生まれてよいと思う。

■施設と地域の関係性について

- ・図書館、保育園が移転すると、東口に住んでいる人の足が遠のくので残念だ。西口と東口で不公平感がある。

■これからの地域に必要な機能

- ・知っている人だけが使う施設にならないように、施設整備とオンライン情報の掲載システムをセットで考えて、地域住民が利用しやすい施設を目指してほしい。
- ・単に複数の施設がまとまってあるだけにならないように規則を組み込むなどの仕組みづくりを議論してほしい。老若男女が関わりあうといったテーマ・構想につながるように実現性含め検討してほしい。

◆事業の内容について(つづき)

■これからの地域に必要な機能(つづき)

- ・大人になってスポーツをする場所がないので、体育館などを貸出してもらえると嬉しい。
- ・公園などの遊び場が少ないので、遊べる場所も確保できると嬉しい。
- ・小学校と保育園、日本語教室との複合化は、保育園から小学校への円滑な移行、多文化共生の点から重要だと思う。
- ・日本語教室は、英語などの語学教室として再編すると利用者が限定的にならないのでよいと思う。
- ・アクセス性がよいので、通級指導教室を設置してもらえると利用の選択肢が広がると思う。
- ・理科・科学系の習い事が周辺にないので、複合施設の機能に入ると嬉しい。
- ・わっくんひろばも複合施設に入ると行きやすくなるので移転してはどうか。
- ・複合施設に行政手続きの窓口があると嬉しい。

■民間機能について

- ・子どもの学びにつながらない民間機能が入ると違和感がある。
- ・複合施設に加える民間機能は小学校や保育園につながるのある内容として、そぐわない民間機能が併設されないようにしてほしい。
- ・昔ながらの地域を支える施設との関係が気になる。
- ・スポーツジムやプールが赤字になった場合にどうするのか心配だ。近隣既存施設があるので、利用見込みの試算など慎重に行ってほしい。
- ・小学生や保育園児の教育や育児サポートを利用者に依頼する一方で老人施設利用料を安価に設定するなどの相乗効果を図るような老人施設や食堂運営などが有効と考える。また、食堂施設は給食や一般営業などで収益向上も考えられる。

■複合化に対する配慮事項

- ・不特定多数が利用する図書館と、保育園、小学校が複合化することで、セキュリティの点が心配だ。不特定多数が施設内にいるので、従来の小学校に比べたらセキュリティに不安がある。
- ・複合化により子どもが遊ぶ・学ぶ空間が狭くなり、子どもの健全な発達を阻害してしまわないか心配だ。子どものための豊かな空間を確保することが難しければ、図書館は現在の敷地で設置することも検討が必要だと思う。
- ・機能を盛り込み過ぎて、無駄なスペースや人材が発生しないか心配だ。

■機能の必然性

- ・小学校の周辺には既存の保育園があるので、複合施設にあえて保育園を入れる必要はないと思う。
- ・図書館は公共性が高いので、より利便性の高い駅周辺のビルなどへの移転が望ましいと思う。

■施設のハード面について

- ・小学校の建替えが元々の目的なので、十分な面積が確保できるようにしてほしい。
- ・小学校のグラウンドは今の広さでは狭いので、十分に確保してほしい。
- ・老若男女、ワンストップスペースとして1階に直接入れるよう入口をピロティとして作ってほしい。栄区の「さかえすた」は関係者以外は入りにくい作りだと思う。
- ・シークレインのような、ものすごく中途半端な複合施設にだけはならないでほしい。

◆期待すること

■子どもの居場所

- ・小中学生が雨の日にも集まれる場所になるとよい。
- ・駅周辺には子ども達のがのびのび遊べる場所が少なかったり、有料だったりするので気軽に通えないので、子ども達が安全に過ごしたり、周りを気にせずのびのび遊んだりできる室内施設を増やしてほしい。
- ・子どもに関する機能を複合化して、幼児から中学生まで過ごせる場になるとよい。
- ・虐待対応件数や一時保護者数、不登校が他区に比べて圧倒的に多い。それを少しでも減らしていけるよう、今回のような施設再編整備の機会ですれらに対応できる機能をしっかりと鶴見区に置けるとよいと思う。

■まちや地域活動の活性化

- ・地域住民が使いやすく、地元団体の支援、応援ができる場所にしたい。
- ・ますます鶴見の人気が高まることを期待している。
- ・生涯学習や、まちの活気につながる活動を支援する場となること。
- ・少子高齢化に柔軟に対応できるように複合施設を再編することを期待している。
- ・子どもと高齢者が接点を持つ仕組みを導入し、まちの活性化につながることを期待している。
- ・商店街と近い立地を活かして、まちの活性化や子ども達が様々な体験ができる場となるとよい。

■交流の促進

- ・外国籍の方達の交流の場になること。

◆期待すること(つづき)

■機能の充実

- ・勉強や読書のためのスペースを広く設けてほしい。
- ・公的な施設の利用は平日のみで、土日に活動するための場所は使用料がかかるので、小中学校のPTAで土日に会合する場合の場所として活用したい。
- ・もっと多様な施設にすべき。特別支援学校との交流や発達支援施設との連携などインクルーシブ教育の発信の場として、もっと踏み込んだことをやって地域の子供の将来のために役立ててほしい。
- ・青少年の地域活動拠点や不登校の子ども達の居場所、里親支援センターなど、現在鶴見区にないものを導入してほしい。
- ・子育て支援拠点「わっくんひろば」、乳幼児健診やワクチン接種会場、子どもの一時預かりが入ると、子育てのことはここに来れば対応できる場になってほしいと思う。
- ・今後、区役所に設置されることも家庭センターもここに移転ができるといいと思う。

■安心・安全

- ・各施設の利便性と安全性が向上すること。
- ・子ども達の安心、安全、健やかな成長を後押しすること。

■環境配慮

- ・SDGsの考え方を取り入れた施設になるとよい。

◆配慮してほしいこと

■教育環境の確保

- ・グラウンドが狭くならないか心配だ。土に触れることも重要なので、地面にグラウンドを確保してほしい。
- ・工事中、子ども達の生活環境が確保できるか心配だ。
- ・工事中の児童の勉強、校庭活動、キッズ活動が損なわれないようにしてほしい。音や振動などで子ども達が不安にならないか心配だ。
- ・仮校舎で6年間過ごすことになり、自分達には何もよいことがなかった、と思う世代をなくしてほしい。

■安心・安全

- ・小学校、保育園、キッズのセキュリティをしっかり管理してほしい。
- ・図書館や保育園が西口に移転すると、東口を利用する住民は、鶴見駅を横断するか高架下の狭く暗い道路を渡る必要があるし、小学校周辺は人ごみや自転車の往来が多く、そのような場所に子ども達が行くことに不安がある。
- ・複合施設になった場合に、災害時の避難場所としてどのように使うのか検討してほしい。
- ・子どもが迷子になったり、他の施設に紛れ込まないように、工事中は子どもの目線で事故が起こりにくい計画になるように配慮してほしい。

■利便性の確保

- ・トイレは引き戸にするなどバリアフリーに配慮してほしい。

■その他

- ・明確な理念、ビジョンに基づいて取捨選択のスピードを持って、事業を推進してほしい。
- ・図書館、保育園が移転した場合の跡地がどうなるか心配だ。現在と違う機能でもよいので大人がいる施設が残ると、周辺の子どもたちの安全安心が維持できてよいと思う。
- ・図書館が移転すると、鯉ヶ淵公園で遊んでいる子ども達が困らないか心配だ。
- ・保育園や図書館が目の前にあり、公園やグラウンドも魅力的でマンションを購入したので、移転した場合の跡地がどうなるか心配だ。
- ・鶴見中央から豊岡に行くときに線路下を通るが狭くて危ないので広くしてほしい。
- ・鶴見図書館や鶴見保育園の移転後も、図書の貸出・閲覧サービスを有する公共施設や保育園など、子ども達の居場所となる施設を設置してほしい。

◆プロジェクトの進め方について

■事業の進行について

- ・6年間全てを仮校舎で過ごすことになる児童が出てくるのは可哀想。子ども達が早く新しい校舎で過ごせるようにしてほしい。
- ・和式トイレなど、今の小学校において先に整備すべき場所があると思う。

■情報発信

- ・説明会や意見交換会についてあまり周知されておらず、申込期間も短いので、情報発信に力を入れてほしい。
- ・今後の検討進捗状況について情報提供をお願いしたい。

■工事中の懸念

- ・工事中に在学している子どもたちの生活、学習環境が心配だ。
- ・小学校の敷地の中で仮校舎と本校舎があり、子ども達の安全性や窮屈な活動制限に懸念があるので、仮校舎を建てる敷地を確保できるとよいと思う。
- ・工事中でも安心して勉強、遊びに集中できる場所の確保をお願いしたい。
- ・工事中に在学している子どもたちへの影響が心配なので、早めに情報発信をしてほしい。
- ・工事中に在学している児童への影響を考えて頂きたいのと、説明をお願いしたい。

■様々な立場の声

- ・小学校の児童や先生の意見も取り入れてほしい。
- ・住民目線で検討してほしい。
- ・老人施設や市民施設を入れるのではなく、子どものための施設となるよう、複合化する機能を検討してほしい。
- ・豊岡町にはわっくんひろばがあり、豊岡町にばかり子育て機能が整備されることに不満があるので、跡地についても記載して周辺住民の同意を得られるようにしてほしい。
- ・子育て支援の充実に向けて、民間の助成金の活用など、情報収集や地元の実践者の意見を取り入れてほしい。
- ・子育て世代として、鶴見保育園、鶴見図書館、豊岡小学校を普段から利用しているので、施設が複合施設として再建されることは、とても嬉しくわくわくする。

以上

「(仮称)豊岡町複合施設再編整備事業基本構想 (素案)」に関する市民意見募集の実施結果

令和6年3月

「(仮称)豊岡町複合施設再編整備事業基本構想」を策定するにあたり、同基本構想の素案に対する市民意見募集及び地域の方を対象とした意見交換会を実施しました。その実施結果及び本市の考え方をまとめました。

1 実施概要及び結果

【市民意見募集】

(1) 実施期間

令和5年12月26日(火)から令和6年1月24日(水)まで

(2) 募集方法等

ア 閲覧及び市民意見募集チラシの配布

鶴見区区政推進課広報相談係、鶴見図書館、市民情報センター等

イ 横浜市ホームページへの掲載

ウ 横浜市 X(旧 Twitter)での配信

エ 関係団体への説明

豊岡小学校保護者説明会、鶴見区自治連合会

(3) 意見の提出方法

ア 横浜市電子申請・届出システム

イ 電子メール

ウ 郵送

エ FAX

(4) 意見提出人数

19名

(5) 提出方法別内訳

ア 横浜市電子申請・届出システム 17名

イ 郵送 1名

ウ FAX 1名

【意見交換会】

(1) 開催日等

ア 令和6年1月13日(土) 10時から11時30分まで(近隣地域の皆様向け)

イ 令和6年1月16日(火) 18時から19時30分まで(鶴見区民の皆様向け)

(2) 場所

ハーモニーとよおか(鶴見区豊岡町28番4号)

(3) 参加人数等

ア 令和6年1月13日(土) 12名

イ 令和6年1月16日(火) 6名

(4) 当日の流れ

- ア 開会・事務局からの概要説明
- イ 基本構想(素案)についての説明
- ウ 意見交換会
- エ まとめ・閉会

(5) 意見交換会のテーマ

- ア 基本構想(素案)についてのご意見
- イ 施設配置についての注意点・配慮事項

2 実施結果-まとめ

(1) 基本構想の項目別内訳

項目 ※1	件数(件)	割合(%)
1. はじめに	12	9
2. 目指す姿	19	14
3. 施設計画	40	30
4. 事業手法	9	7
(参考)現状と課題	1	1
その他	52	39
合計	133	100

※1 市民意見提出時に選択された「項目」を示します。また、意見交換会のテーマでいただいたご意見については、内容に応じて、上記「項目」毎に振り分けて集計しています。

(2) ご意見及びご意見に対する本市の考え方

ご意見(133件)に対して、「基本構想」への反映の考え方は次のとおりです。

分類	対応	件数(件)	割合(%)
修正	「基本構想」に「記載内容を修正」して反映したもの	6	4
既に反映	意見の趣旨が、既に「基本構想」に反映されているもの・「基本構想」に沿うもの	25	19
参考	今後の検討の参考にするもの	93	70
その他	その他	9	7
	合計	133	100

ア【市民意見募集】

項目 1. はじめに			
No.	ご意見	本市の考え方	分類
1	<p>はじめにについて 老朽化した小学校や図書館を複合施設として再編整備し小学校単独の建替えでは 成しえない相乗効果等を生み出し、地域の活性化や魅力向上を図るとあります。期待したいところです。しかし、P2事業の背景に「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」の中で 今後もサービス維持向上のため公共施設の規模・量、質、保全更新コストの適正化を図ることとしている。この事業は、これらの具体化を目指す大規模再編整備のプロジェクトです。（一部略）とありますが、その前の少子化による人口減少が進む中で、公共施設の見直しが必要になっているとの記述から、「公共施設の規模・量・質、保全更新コストの適正化」が財政難解決のために行われることであり、地域の活性化のためや魅力向上を図る事業ではないのではないかと感じてまいります。せっかく再編整備するのであれば、これまで以上に市民の利用を考え、未来に向けての規模・量・質として考えて欲しいと思います、期待しています。</p>	<p>豊岡小学校、鶴見保育所、鶴見図書館、つるみ区民活動センターは、いずれも、将来に渡り市として必要な施設です。このため、小学校の建替えを機に、効率的な再編整備を行うとともに、併せて、高機能化や地域活性化を図るものです。今後、コンセプトの実現に向けて、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。</p>	参考
2	<p>P6 民間事業者のアイデアについて、地域住民の声を聞いてください。個人的にはカフェなど街中にあるものを、わざわざ持ってこなくてもいいと思います。少子化による人口減少のためといいます横浜市の財政が苦しいのは開発、大型の箱物建設事業にばかり力をいれてきたためです。持続可能性があるとは思えない金沢区のデリバリー弁当工場。上瀬谷テーマパークは、やめてください。今、公共のサービスが乏しい。特に福祉、介護。再編したからと言って向上するとは思えません。机上の空論。絵に書いた餅です。 p8 子育てしたい街で、中学校給食、デリバリー弁当は、ありえません。選択制の方がましです。ブランド力の向上でもデリバリー弁当は、ありえません。</p>	<p>今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。</p> <p>なお、中学校給食についてのご意見は、本事業では対応が困難ですが、横浜市中期計画 2022～2025 の中で、令和8年度から中学校給食の利用を原則とすること、デリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しているところです。いただいたご意見は、所管部署に伝えます。</p>	参考

3	<p>学校は、学校の機能のままが良いと思います。コミュニティの場所が、学校である必要性が理解できません。図書館や、区民センターが、交流の空間を作れば良いと思います。親不在の、学校という子供と先生だけの空間で、昨今では、全生徒を見ることもままならない、大変な教育環境下で、様々な方々との交流はプラスどころか、リスクになるのでは？と危惧しております。</p>	<p>小学校の教育環境の向上を図ることができるよう、現在の施設整備水準等に基づき、教室や体育館、グラウンド等の広さや機能を整備します(基本構想 P.12～14、32)。また、専用の出入口を設け、他施設の利用者と移動動線が交わらないようにする等、必要なセキュリティを確保し、安全安心な環境を整えることとしています(基本構想 P.12～14、17、32)。</p> <p>今後、いただいたご意見を参考に、設計等も含めた詳細を検討します。</p>	参考
4	<p>5Pの東側敷地を総合的な利活用を検討するとの事ですが、具体的な検討内容の意見を求めないのでしょうか？</p>	<p>東側敷地の利活用については、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、ご意見をいただきながら検討を進めていきます。</p>	参考
5	<p>9p 1.3 複合化の対象施設・設置を計画する敷地「豊岡小学校周辺には、次の図のように、複数の公共施設が立地しています。このうち、築年数が比較的古老朽化等による建替えが想定され、小学校と親和性があり、複合化により互いの機能の連携や相乗効果の発揮が期待できる施設として、鶴見図書館、鶴見保育園、つるみ区民活動センター及び小学校内で行っている日本語教室豊岡教室(日本語指導が必要な、市内の中学生及び豊岡小学校の児童が通級)、放課後キッズクラブを、複合化の対象施設としています。」について、児童施設と図書館との併設に反対します。</p>	<p>豊岡町複合施設(仮称)は、豊岡小学校周辺に立地する公共施設のうち、「学び」等の共通点があり、複合化により互いの機能の連携や相乗効果の発揮が期待できる図書館、保育所、区民活動センター等を対象としました。なお、小学校、保育所は、専用の出入口を設け、他施設の利用者と移動動線が交わらないようにする等、ある程度独立して設置するものと考えています。複合施設との連携のしやすさにも配慮しますが、施設管理や運営上の配慮も行うことで必要なセキュリティを確保し、安全安心な環境を整えることとしています(基本構想 P.12～14、17、32)。</p>	参考
項目 2. 目指す姿			
6	<p>目指す姿について P11のワークショップ、意見交換会の主なご意見は、ぜひ叶って欲しいし、このような施設ができることを期待します</p>	<p>今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。</p>	既に反映

7	<p>p11 中学校給食がデリバリー弁当では子育てしたい街にはなりません。選択制の方がいいです。 p12複合施設でも小学校は分けられているので、子供からお年寄りまで同じ空間で過ごすことにはならないと思います。</p>	<p>図書館、つるみ区民活動センター等に、多世代が利用できる空間をつくり、隣接する小学校の児童等と、今まで以上に交流の機会が持てるようにしていきます。今後、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。</p> <p>なお、中学校給食については、本事業では対応が困難ですが、横浜市中期計画 2022～2025 の中で、令和8年度から中学校給食の利用を原則とすること、デリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しているところであります。いただいたご意見は、所管部署に伝えます。</p>	参考
8	<p>10P 融合・連携による機能について。鶴見駅の隣の川崎駅と比べると子どもたちの習い事の種類が、鶴見駅近辺では限定されてしまう。最近は少し増えてきたが、プログラミングや理科実験教室が鶴見駅からアクセスしやすいところがあれば 子どもたちを通わせていたと思う。そのような中で STEAM ラボは特に魅力を感じる。</p>	<p>今後、コンセプトの実現に向けて、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。</p>	既に反映
9	<p>良い面だけが書かれていまして、昨今多発している幼児犯罪の問題に対する危機感が残念ながら感じられませんでした。そして、先に述べた通り、目指す姿を実現するのが、学校である必要はないと考えております。学校空間に入る人がどのような目的なのか、審査する事は難しいと思います。子供が、外に学びに行けば良いのでは、と思います。子供の空間に大人を呼び込む必要性はないと考えております。</p>	<p>小学校・保育所には、専用の出入口を設け、他施設の利用者と移動動線が交わらないようにする等、ある程度独立して設置するものと考えています。複合施設との連携のしやすさにも配慮しますが、施錠管理や運営上の配慮も行うことで必要なセキュリティを確保し、安全安心な環境を整えたいと考えています。</p> <p>ご意見は、今後の設計や運営方法等の検討に参考にさせていただきます。</p>	参考
10	<p>目指す姿を考えながら計画を検討いただければと存じます。</p>	<p>今後、コンセプトの実現に向けて、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。</p>	既に反映

11	P9-10、民間機能について 民間事業者との連携によるサービス提供について、考え方に賛同ですが、複合施設コンセプトへの合致性だけでなく長く事業継続してもらえる内容・相手か、といった点も考慮頂ければと思います。公共施設内での事業活動が『利益が上がらないので早々に撤退』は「廃れた感」が出て施設そのものに対する印象が非常に悪化し利用率などに悪影響を出すことが懸念させるためです。	基本構想では、事業検討の初期段階で、全体の方針や方向性をまとめました。今後、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。また、引き続き、民間事業者からのご意見等も踏まえ、詳細を検討します。	参考
12	14p 2.3 各施設の基本的な機能・目的等 鶴見図書館「子ども・子育て世代、高齢者の方、障害のある方など、多様な利用者のニーズに応えることができ、滞在したくなるような居心地のよい空間を提供します。」について、昼寝や休憩目的や犯罪目的での図書館の利用者は、排除して欲しい。	基本構想では、事業検討の初期段階で、全体の方針や方向性をまとめました。 図書館は、「横浜市図書館ビジョン」を踏まえた施設整備を行います。今後、いただいたご意見を参考にしながら、事業計画等の中で運営、管理の方法等も含めた詳細を段階的に検討します。	参考
13	この度 複合整備にあたり、特に大きな問題はなく、意見提案を記述します。 先行事例が写真で説明されていてとてもいいです。	いただいたご意見を参考に、引き続き、検討を進めてまいります。	既に反映

項目 3. 施設計画			
14	<p>施設計画について P12 小学校、保育所のセキュリティは、専用の出入口があるだけで大丈夫でしょうか、いろいろな人が集まる場所と併設することになるのです。必要なセキュリティとは、他にどのようなことを考えているか知りたいです。P13 学校図書館と市立図書館の連携しやすい配置は良い考えだと思いますが、小学校のセキュリティ重視でお願いしたいです。P18 横浜市図書館ビジョンの趣旨を踏まえた図書館に期待します。これまでになかった機能を充実させるだけのスペースが確保されることを願います。P22 民間機能について 先行事例とか具体的にどのような民間機能なのか、もう少し詳しく示して欲しいです。(2.4)コンセプトに合った民間機能は、各公共機能と連携して小学校、保育所も有効な連携を検討します。とありましたが、子供たちのプライバシーや安全は確実に守られるのかが心配です。</p>	<p>小学校・保育所は、専用の出入口を設け、他施設の利用者と移動動線が交わらないようにする等、ある程度独立して設置するものと考えています。複合施設との連携のしやすさにも配慮しますが、施設管理や運営上の配慮も行うことで必要なセキュリティを確保し、安全安心な環境を整えたいと考えています(基本構想 P.12~14、17、32)。その上で、各施設が機能融合・連携することで相乗効果や新たな価値を創発できるよう検討します。また、「横浜市図書館ビジョン」も踏まえながら、創意工夫に努めてまいります。</p> <p>今後、いただいたご意見を参考にしながら、事業計画や設計等も含めた詳細を段階的に検討します。</p>	参考
15	<p>p18横浜市の環境の配慮は、間違っています。上瀬谷の自然を潰して花博。テーマパーク。関内駅前に3棟の高層ビル。脱炭素計画に反しています。先駆けとなるようにとありますが、他の小学校と差がありすぎるのは問題だと思います。</p>	<p>学校建替えにあたっては、「横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)」等に基づき、自然エネルギー有効利用や再生可能エネルギーの導入、木材の利用、断熱性能の向上、高効率空調の設置等に取り組んでいます。豊岡小学校の建替えにあたっては、同様に取り組む予定です。</p> <p>また、複合化しても、現在の学校施設整備水準等に基づく学校施設等の整備を図るとともに、児童の安全確保等との両立など、教育環境の整備・確保を図って行きます。</p> <p>ご意見は、今後の設計や運営方法等の検討に参考にさせていただきます。</p>	その他

16	<p>p13 図書館について 鶴見区図書館を利用して頂いてる者として、図書館の拡充を期待して意見を述べます。 1. 鶴見区図書館の現状から改善すべき2つの基本課題 (1)蔵書数が市内図書館でワースト2位 蔵書を増やし、なおかつ、快適空間の中で読書ができ、さらに、多世代交流の場やグループ学習できる部屋の整備等、図書館の未来像を実現するには、図書館のスペース拡大しかありません。しかし、今回の素案に肝心の「整備後の延床面積」が表示されていません。整備方針に「単館で建て替えた場合に比べて面積を縮小」と記載されています。まさか、現状を削減する考えはないと思いますが、明示されない現状ではとても「先進事例となるよう検討」にはならないのでは不安におもいます。・横浜市の図書館の未来像を実現する初のプロジェクトになる「事業計画案」策定されることを強く要望します。(2)アンケート結果で「身近な場所での本の貸出返却」が7割近い。(p34) この解決には、図書館が29万人に1か所という問題の解決が基本課題と考えます。(私が政令市の図書館統計から調べたら、「政令市平均では1区で1.7館」でした)それがすぐに解決できなければ、私は地区センターのネットワーク構築で解決できないかと以前から感じていました。・地区センターの有効活用ふくめ、「すべての地区センターで本の貸出返却」できる連携機能の確立を早急に実施されることを要望します。 2. 超高齢社会における図書館機能拡充の提案 今後も増大する高齢者大集団の知恵と力を、地域社会にどう発揮していただくかは、高齢者自身の生きがいになると同時に、地域力を育む大きな力になると考えます。高齢者の潜在力を開発・発揮する鍵を握るのが図書館ではないでしょうか。それに貢献できる機能拡充の記載を求めます。・私が考える「高齢者が期待する図書館機能」について、参考までに、記します。① 超高齢期になっても、日常生活能力を維持する健康実現への学</p>	<p>基本構想では、事業検討の初期段階で、全体の方針や方向性をまとめました。図書館は、「横浜市図書館ビジョン」を踏まえた施設整備を行います。複合化による機能の充実と多様な活動を支えられるようにするため、図書館の所蔵する蔵書・情報を拡充し、機能を充実することが必要です。今後、いただいたご意見を参考にしながら、事業計画や設計等も含めた詳細を段階的に検討します。また、地区センターの活用や超高齢社会における図書館についてのご意見は、今後の政策の検討の参考にさせていただきます。</p>	参考
----	--	--	----

<p>No. 16 の 続 き</p>	<p>習と実践を支える役割 例 高齢期健康づくり・生き方に関する書籍コーナー、講演会、交流する企画等の開催 ② 情報格差を改善する企画(・図書館が高齢者のパソコン・ボランティアを養成し、別の高齢者に教える ③ 多世代交流・社会参加の機会を醸成する企画 高齢者がコラボするユニークな企画がつけられることを期待します。 ④ 高齢者の図書館運営への参加・ボランティア協力 ・来館できない人や高齢者施設へ本の無料送付 3.「図書館運営への住民・利用者参画の仕組み」構築の提案 図書館は、地域住民のための施設です。・その充実・発展へ住民も図書館運営への1員としてその責任を果たしたいと考えます。参画の場を作って頂きたい。</p>		
<p>17</p>	<p>15pの小学校の必要諸室と規模について、図書室の項目がありませんが小学校専用の図書室は必要です。 書架のある部屋にクラス単位で移動して周りにある資料を利用することは授業の展開上必要です。図書館が隣接しているとはいえ、一般の利用者と同時に利用することは考えられませんし、必要な資料が貸出中で利用できないということも起こると思います。カリキュラムの展開に即した資料の常置は必須ですし、場合によっては複本で用意する必要もあります。選書や利用に際しての業務を担う学校司書の配置も必須です。</p>	<p>小学校は、現在の施設整備水準等に基づき、図書室を整備します(基本構想 P.12～14、32)。図書館は、「横浜市図書館ビジョン」を踏まえた施設整備や空間づくりを行います。建物を集約化、高層化することで、面積の確保は可能と考えています(基本構想 P24～25)。 今後、いただいたご意見を参考に、設計等も含めた詳細を検討します。 いただいたご意見を踏まえ、基本構想の「3. 施設計画 3.2 整備機能と必要諸室 3.2.1 小学校(4) 必要諸室と規模」に「学校図書館」を追記しました。面積については、「教室等」に含まれているため、変更はありません。</p>	<p>修正</p>

18	<p>14P IC タグなど、デジタルインフラの導入について、市での検討状況を踏まえ、必要な機器を適切な場所に配置します。本の貸出だけでなく、そもそも入館時にカードを読み取って入れるようにしたほうがセキュリティはよいのではないか。現在の鶴見図書館は2階が子ども向け、3階が大人向け。3階はほとんど成人男性が席を埋めており、女性は利用しづらい。経済的な事情で図書館に来ているようであれば生活の支援へつなぐ役割も含めてほしい。24P 複合施設の配置の検討 駅からの利用者の動線を考えるとパターン③がよいように思われるが子どもたちのプライバシー(不審者対策)を考えるとパターン②がよいように思われる。(図書館や鶴見区民活動センターは不特定多数の人が利用するため注意が必要だと思う。)</p>	<p>基本構想では、事業検討の初期段階で、全体の方針や方向性をまとめました。</p> <p>基本構想策定後は、いただいたご意見を参考にしながら、管理運営の検討や施設配置の検討を段階的に進めていきます。</p>	参考
19	<p>p13 子どもの学びと読書を支えるため、学校図書館と市立図書館が連携しやすい配置を検討します。豊岡小学校の学校図書館と鶴見図書館について、どのように連携し利用していくのかが気になります。具体的なことはこれからなのかもしれませんが、学校司書がきちんと位置付けられることを希望します。</p>	<p>小学校や図書館等が連携することにより、これまでの公共施設の枠組みを超えて、新たな活動や学び、出会いを創造できるよう目指していきます。</p> <p>ご意見は、今後の設計や運営方法等の検討に参考にさせていただきます。</p>	参考
20	<p>この計画書を考えられた人は、実際の小学校を見ていないのではないかと不安になります。安心安全は、不可能なのでは？と危惧しております。豊岡小学校は大きくありません。周辺の道も細く狭いです。朝は、駅に行く通勤の人で学校前は子供と大人でぐちゃぐちゃです。そこに、新たな人を呼び込むとなると、トラブルが多発しそうと危惧しております。現在でも、グラウンド、教室がとても狭いと感じています。また、施設から、グラウンドが丸見えになるのではないのでしょうか。</p>	<p>小学校は、現在の施設整備水準等に基づき、教室や体育館、グラウンド等の広さや機能を整備する(基本構想 P.12～14、32)とともに、専用の出入口を設ける等、安全安心な環境を整えることとしています(基本構想 P.12～14、17、32)。</p> <p>今後、通学時等の施設周辺の安全対策や動線計画については、いただいたご意見を参考に、設計等も含めた詳細を検討します。</p>	参考

21	<p>今まで、駐輪場(バイク)が無いために、今は、港北区の図書館まで行っています。新しい施設には、是非、駐輪場(バイク)をお願いします。図書館利用者には無料で利用させていただきたいです。</p>	<p>複合施設整備に必要な駐車場・駐輪場台数を「横浜市駐車場条例」「横浜市自転車駐車場の附置等に関する条例」等に基づき確保するとともに、利用性や安全性の観点から適切な位置に配置します。今後、いただいたご意見を参考にしながら、運営方法等も含めた詳細を段階的に検討します。</p>	参考
22	<p>p24 のパターンについて パターン①もしくはパターン③を希望致します。理由 鶴見図書館の利用を考えた際、鶴見駅からのアプローチを考え、駅に近い配置がいいかと思う為</p>	<p>いただいたご意見は、今後の設計等の参考にさせていただきます。</p>	参考
23	<p>17p 3.1 複合施設整備の基本的な考え方 図書館のビジョン「これからの図書館では、子ども・子育て世代、高齢者の方、障害のある方など、多様な利用者のニーズ に応えられる、滞在したくなる、居心地のよい空間づくりを進め、図書館で過ごす中で様々な活動に触 れられ、参加を後押しできる場となります。」について、 児童施設と図書館の併設には、反対します。 まず、図書館は、「図書館の自由に関する宣言」のため、憲法に基づき、誰でも自由に利用できます。 そのため、実際にはホームレスの方が休憩するために 鶴見図書館で昼寝しているのが、現状です。 女性や児童は、怖くて近寄れません。 ある図書館に関する論文では、児童へのいたずら、ホームレスによる迷惑行為、変質者や痴漢的行為が 報告されています。 また、鶴見警察署の鶴見管内の路上で痴漢や盗撮やストーカー行為が毎週のように報告されています。 このような犯罪者であっても、図書館には自由に利用できます。 一方、小学校に併設される予定の保育園や放課後児童クラブは、 幼児や児童が利用するものであって、外部不審者との共存は、避けるべきと考えます。 以前の事件を忘れてはいないと思いますが。 よって、誰でも入れる図書館は、併設ではなく、児童施設とは、まったく別の場所に建設して欲しい。 児童と外部不審者が相互に出入りできる 危険な共通スペースは避けて頂きたい。</p>	<p>小学校・保育所には、専用の出入口を設け、他施設の利用者と移動動線が交わらないようにする等、ある程度独立して設置するものと考えています。複合施設との連携のしやすさにも配慮しますが、施設管理や運営上の配慮も行うことで必要なセキュリティを確保し、安全安心な環境を整えたいと考えています。</p> <p>ご意見は、今後の設計や運営方法等の検討に参考にさせていただきます。</p>	参考

24	<p>(1)小学校 配置等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パターン3が良いと考えます。理由は温暖化の進行で日陰が重要だからです。 ・出来れば天然芝をグラウンドの天然芝化は、市の小学校では例が少ないと推測されます。ぜひ検討して下さい。 ・他の適応策としては、屋上緑化や太陽光発電は実行されると思われます。体育館の冷房化を検討して下さい。 ・どこか例があれば教えてください(質問) 	<p>学校建替えにあたっては、「緑の環境をつくり育てる条例」に基づき、敷地面積と用途地域に応じた緑化を行います。天然芝については、メンテナンスや経費等の課題があり、東戸塚小学校(戸塚区)や永田台小学校(南区)等でグラウンドの一部に設置する例があります。</p> <p>また、「横浜市地球温暖化対策実行計画(市役所編)」(令和5年1月策定)等に基づき、自然エネルギー有効利用や再生可能エネルギーの導入等にも取り組んでおり、建替え後の体育館には空調設備を設置します。</p> <p>いただいたご意見は、今後の設計等の参考にさせていただきます。</p>	参考
25	<p>(4)図書館</p> <p>図書館は重要ですが、北寺尾や馬場地区は少々遠く、移動図書館が有効と考えます。本図書館予算の一部を振り向けてはどうか。</p>	<p>図書館は、「横浜市図書館ビジョン」を踏まえた施設整備を行います。いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>	その他
26	<p>(7)その他 環境面など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観の制限、特に色 ・無電柱化 ・広い歩道 ・多様な植樹、街路樹 ・近隣の工場等の排熱を利用した空調 ・電話基地局の設置(屋上) ・屋上緑化 	<p>今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。</p>	参考

27	<p>1. 豊岡小学校の周辺の鶴見図書館、鶴見保育園、つるみ区民活動センターの再編整備について</p> <p>総務省は公共施設の再編計画を各自治体に出すよう要請したと思いますし横浜市も提出したと思います。が、本来実情に基づいて自治体が判断すべきです。図書館について延べます。</p> <p>①図書館は図書館法に基づいて自治体が設置するものです。建物の建設計画にPFIの手法を用い民間の資金を活用するのはかまいませんが、実際の図書館の運営を指定管理会社に委ねるのは図書館を変質させるものです。他の事例でも10年以上経って、サービスは低下し、運営経費はアップすることがいくつか実証されています。一番問題なのは自治体が図書館のノウハウの運営を失うことが大きな問題であり。また、指定管理は5年ごとに変わることも予想され、職員は非常勤が90%、短期雇用の傾向もあり、専門職の職場はそのノウハウが安定して蓄積されません。図書館法は運営については自治体が責任を持つことを想定しています。図書館法は変わっておりません。図書館法に指定管理の運営を認める法律の変更がなされない限り、本来はできないはずです。PFIの手法を用いても運営を認める法律の変更がなされない限り、本来はできないはずです。PFIの手法を用いても運営は直営が筋です。衆参国会に議論でも指定管理は図書館になじまないと思いました。文科省の指定管理に対する解釈は間違っています。総務大臣も疑義を出した</p> <p>②鶴見図書館は規模が小さ過ぎです。現行の倍の3,000㎡は必要です。図書館全体の計画でも1区1館では指定都市の図書館で数の少なさが際だっています。20万9千人に1館だけです。指定都市の平均は9,7千人に1館です。蔵書率は1人当たり1.1冊。指定都市の平均は1.7冊です。資料費も79.5円。平均は106.7円で最低クラスです。各区の図書館</p>	<p>基本構想では、事業検討の初期段階で、全体の方針や方向性をまとめました。</p> <p>図書館は、「横浜市図書館ビジョン」を踏まえた施設整備を行います。複合化による機能の充実と多様な活動を支えられるようにするため、図書館の所蔵する蔵書・情報を拡充し、機能を充実することが必要です。今後、いただいたご意見を参考にしながら、事業計画や設計等も含めた詳細を段階的に検討します。</p> <p>また、学校図書館については、学校図書館法では「学校には、学校図書館を設けなければならない」と定められており、この検討において、「学校図書館を廃し、公共図書館を併設して利用させる」という考えはありません。</p> <p>なお、学校と公共図書館が複合化することにより、学校図書館と公共図書館がより緊密に連携し、学校図書館における図書資料で不足する部分を、公共図書館の資料活用や公共図書館司書からの様々な支援等によって補完することや相乗効果を図ることもできると考えます。</p>	参考
----	--	---	----

No. 27 の 続 き	<p>の規模も小さく、大都市横浜にしては文化度の低さがわかります。1区2館を計画してください。大方の市民の意見はすくな過ぎとしています</p> <p>③学校図書館は正規の司書が配置されていないのでは？また、資料費も極めて低いです。学校図書館と公共図書館の機能は違います。学校図書館は学校教育に寄与するのが第1義です。過日文科省主催の学校図書館の事例発表をお聞きしました。図書館が学校の授業の中心になり、テーマに沿ったIT化も含め、資料調べから、自分の考えをまとめ、クラスの人達と討論をするというスタイルです。その事例では図書館の司書さんが教師と一緒にあって授業を進めるスタイルです。近未来の学校図書館の事例です。図書館に正規の司書を配置する。公共図書館との合併は論外です。真つ当な図書館運営をすれば、地域は賑わいます。地域の賑わいの為に図書館の運営を変えるのは本末転倒でしょう。</p>		
項目 4. 事業手法			
28	<p>p19横浜市は教員が足りないそうです。あつては、ならないことです。生徒の多様な学びよりも、基本的なことが身につくようにしてください。プールは防災の観点からあつたほうがいいと思います。防災の観点から給食室を狭くしないでください。P20 放課後キッズクラブ 民間におまかせのため、各施設ごとに差があります。公共の場を使うなら、ある程度、統一してほしいです。p31民間に任せれば質の高い公共サービスができるという考えは捨ててください。ある認定こども園は、ひどかったです。保育士の虐待を横浜市が隠蔽。補助金不正受給。プロポーザル公募は、もうやめてください。しっかり横浜市が管理して地方自治体としての責任をもってください。</p>	<p>基本構想では、事業検討の初期段階で、全体的方針や方向性をまとめました。今後、いただいたご意見を参考にしながら、運営方法等も含めた詳細を段階的に検討します。</p> <p>なお、小学校の教育環境の向上を図ることができるよう、現在の施設整備水準等に基づき、教室や給食室、体育館、グラウンド等の広さや機能を整備します(基本構想P.12～14、32)。</p> <p>また、ワークショップや意見交換会で、複合施設に期待する機能として「健康増進」が挙げられており、その施設として、スポーツジムやプールも想定しており、(基本構想P.10～11)なお、学校プールについては、民間機能の活用を図ることができる場合、整備しないことも検討します。今後、いただいたご意見を参考に、設計等も含めた詳細を検討します。</p>	参 考

29	p26 事業手法について わかりやすい資料提示と説明の機会を求めます。事業手法は、質を決める重要な課題を考えます。・各方式のメリットとデメリットを明確にした資料を市民に示し、決定する前に市民へ説明と意見を聞く機会を作って頂きたいと要望します	今後は、より一層ホームページや SNS 等による周知を図り、ご意見やアイデアをいただけるよう、努めてまいります。また、事業の詳細な計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考
30	27P 主な事業手法 説明からメリット・デメリットがわからないのですが 民間企業への協力を求めるならば利益が出ないと退去してしまうため、商業施設に成功実績があるところに発注するのは手ではないかと思えます。	基本構想では、事業検討の初期段階で、全体の方針や方向性をまとめました。今後、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。また、引き続き、民間事業者からのご意見等も踏まえ、詳細を検討します。	参考
31	とても狭い場所で、工事する事になるので、事故が起きるのではと危惧しております。通学路に工事車両が入ってくるようになるので、子供のストレスも大きいと思えます。また、工事中の埃などを子供達が吸う事により、健康被害が出るのではと危惧しております。しばらくグラウンドが使用できなくなるのでは、とも危惧しております。	本市の小・中学校建替えは、他校においても、学校敷地内で学校運営を継続しながら工事を実施する「居ながら」工事となっています。豊岡小学校についても、敷地の中で建替えることを想定していますが、工事にあたっては、児童の安全確保及び教育活動への負担軽減に努めていきます。具体的な工事計画については、今後、施工業者による計画ができた段階で保護者や地域の方々等にご説明する予定です。	参考
32	39p オ) 鶴見図書館「鶴見図書館の蔵書数は、一般書 73,166 冊、児童書 35,526 冊、総数 108,692 冊となっています(令和4年度)。鶴見区は市内で3番目に人口が多い区ですが、他の地域図書館の蔵書数と比べると、蔵書数は下から 2 番目に少ない図書館となっています。」について、一般図書館と子供図書館は分離して、それぞれの面積と蔵書を増やすべきと思えます。	基本構想では、事業検討の初期段階で、全体の方針や方向性をまとめました。複合施設の中にあっても、小学校は現在の学校施設整備水準等に基づく施設等の整備、及び、図書館は、「横浜市図書館ビジョン」を踏まえた施設整備を行います。複合化による機能の充実と多様な活動を支えられるようにするため、図書館の所蔵する蔵書・情報を拡充し、機能を充実することが必要です。今後、いただいたご意見を参考にしながら、各施設が機能融合・連携することで相乗効果や新たな価値を創出できるよう、検討します。	参考
33	(3)ビオトープ、動物の飼育 既存の小学校では土日や夏休みでの管理が課題でした。 複合化に当り上記の土日等も管理するリソースは確保可能と考えます。	いただいたご意見は、今後の設計等の参考にさせていただきます。	参考

項目 (参考)現状と課題			
34	<p>P29 イ)豊岡地区 鶴見在住歴が長い者からすると、現在はずいぶんきれいな街になったと思いますが、魅力的かと言われると川崎には負けてしまうと思います。川崎駅と鶴見駅を比較して感じたことは、大型ショッピングセンターや映画館の有無もありますが、東口・西口ともに駅前の目立つところにパチンコ屋があるため、街の雰囲気は「きれい・おしゃれ・安心」とは言いづらいこともあると思います。川崎駅周辺もパチンコ屋は存在していますが、ラゾーナ川崎に向かう限りはまったく目に入りませんし、反対方面も5分ほど歩かなければ目に入らない印象です。地域活性化を狙って建設するのであれば街の景観も工夫し、きれいさや、統一感が出せるともっとよいのではと思いました。</p>	<p>いただいたご意見については、駅前の景観向上や歩行空間・店先空間の改善など、活力と魅力あるまちづくりを進めるうえで、参考とさせていただきます。</p>	参考
項目 その他			
35	<p>鶴見区の住民ではありませんが、横浜市民として今回の素案に期待と不安を持ちました。市民意見として聞いて下さったことに感謝します。</p>	<p>今後、コンセプトの実現に向けて、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。</p>	その他
36	<p>複合施設にすることは、行事への参加の際や施設の利用など相乗効果が考えられますが、それぞれの必要な機能に支障がないように配慮して進めることを強く要望します。</p>	<p>今後、コンセプトの実現に向けて、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。</p>	参考

37	<p>希望:鶴見中央地区から豊岡町への動線の整備についても、計画に入れて公開してください。 詳細:この複合施設が竣工されると、鶴見中央地区から豊岡町への人流が増えると想定されますが、JRの線路を越えるルートで、鶴見駅を通る以外のルートがとても危険だと思います。複合施設のターゲットが子育て世代、中高生に渡ることから、複合施設への移動手段としてベビーカー、自転車で安全に移動できるルートの整備が必須だと思います。現在、県道14号の高架下ルートでは歩行者と自転車の接触が度々起こっていますが、複合施設竣工後は更に歩行者数、自転車数、ベビーカー数など増えると思うので、動線の確保ができないのであれば、複合施設の対象を分ける(図書館を別施設とする)なども再考願いたいです。</p>	<p>いただいたご意見については、鶴見駅周辺における安全で快適な歩行空間の確保や交通環境の改善に向けて、参考とさせていただきます。</p>	その他
38	<p>市立図書館の合築は、今後も広がると思いますが、市民の意見を十分聞いてくださるようお願いいたします。</p>	<p>今後は、より一層ホームページやSNS等による周知を図り、ご意見やアイデアをいただけるよう、努めてまいります。また、いただいたご意見を参考に、ワークショップ等の開催形式も含めて検討します。</p>	参考
39	<p>率直な意見を述べさせてもらいました。反対理由の一番は、場所が小さい、立地が悪い点です。少子化と書かれていましたが、豊岡小には当てはまらないと思います。学校は駅から近く、鶴見は東京に近いので、働き世帯が多いです。実際、豊岡小の児童数は増えていて、様々な多目的教室が、工事され、教室として利用されています。そして、子供を守るべき大人が逆に晒してしまう環境を作ってしまうことに、反対です。何か起こった時の責任はどなたが取るのでしょうか。学校でしょうか。学校は、今までも手一杯だったので、これ以上の負担が増えてしまうことは、教育の質の低下を招くのでは?と危惧しております。学校は、子供のための物です。大人のものではありません。お読みくださりありがとうございました。</p>	<p>小学校の教育環境の向上を図ることができるよう、現在の施設整備水準等に基づき、教室や体育館、グラウンド等の広さや機能を整備します(基本構想P.12~14、32)。また、専用の出入口を設け、他施設の利用者と移動動線が交わらないようにする等、ある程度独立して設置するものと考えています。複合施設との連携のしやすさにも配慮しますが、施設管理や運営上の配慮も行うことで必要なセキュリティを確保し、安全安心な環境を整えることとしていきます(基本構想P.12~14、17、32)。</p> <p>今後、いただいたご意見を参考に、設計等も含めた詳細を検討します。児童推計については、今後の段階的な検討においても、最新の情報に基づいて検討します。</p>	参考

40	<p>小学校の老朽化で建替えるなら、小学校だけを建替えれば良いのに、なぜ他の施設を入れようとするのか、メリットが抽象的。生涯学習や地域活動なコミュニティの場として、今ある図書館や区民活動センターを利用すれば済むのになぜ複合化するのかわからない。ただでさえグラウンドが狭いのに、図書館や保育所などの施設を入れないでほしい。縦に広さを増やすと周囲に圧迫感が出そう。必要なセキュリティを確保すると記載があったが、どうしても不審者が入りやすくなる。小学校関係者以外の方が敷地内のセキュリティを知れる状況になり子供を狙った事件が起こりそうで怖い。複合施設というなら中学校を併設するほうが道理にかなっている。子供を見守る親としては、中学校の様子を知れた方が良いし、小学校から中学校への児童の引継ぎがやりやすく子供たちにとって良い環境になると思う。</p>	<p>豊岡町複合施設(仮称)は、豊岡小学校周辺に立地する公共施設のうち、「学び」等の共通点があり、複合化により互いの機能の連携や相乗効果の発揮が期待できる図書館、保育所、区民活動センター等を対象としました。</p> <p>小学校の教育環境の向上を図ることができるよう、現在の施設整備水準等に基づき、教室や体育館、グラウンド等の広さや機能を整備します(基本構想 P.12～14、32)。</p> <p>小学校・保育所には、専用の出入口を設け、他施設の利用者と移動動線が交わらないようにする等、ある程度独立して設置するものと考えています。複合施設との連携のしやすさにも配慮しますが、施設管理や運営上の配慮も行うことで必要なセキュリティを確保し、安全安心な環境を整えることとしています(基本構想 P.12～14、17、32)。ご意見は、今後の設計や運営方法等の検討に参考にさせていただきます。</p>	参考
41	<p>現在の鶴見図書館に近いことを理由に、住居を構えました 建物の老朽化のための建て替えは理解しますが、場所は豊岡に移転しないでほしいです</p>	<p>本事業の背景として、本市では「横浜市財政ビジョン」等に基づき、建替えの機会等を捉え、公共建築物の適正化を図り、将来にわたり必要な市民サービスの持続的な提供と地域コミュニティの活性化を目指すこととしています。</p> <p>本事業では、豊岡小学校の建替えの機会を捉え、小学校と融合する機能として、周辺施設等の内容、規模、築年数、親和性等を考慮し、図書館、保育所、区民活動センター等を対象としました。これらの複合化による相乗効果として多様な活動が期待され、居心地よく豊かな時間を過ごせる図書館の実現にもつながるものと考えています。</p> <p>現在の図書館周辺にお住まいの方には、移転に伴いご不便をおかけしますが、これまでの公共施設の枠組みを超えた魅力ある複合施設となるよう検討します。</p>	参考

42	<p>多くの市民が利用する場だからこそ、利用する機会に情報を得られることや相談ができる場所が併設されたらよいと感じます 例えば複合施設に入るとされる機能にあわせ、教育相談、外国人相談、子育て相談、また地域でニーズのあるだろう介護相談や弁護士相談などの専門相談は行政機関などに行かず地域で気軽にできたらさらに施設の利便性が高まるように思います。</p>	<p>今後、コンセプトの実現に向けて、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。</p>	参考
43	<p>図書館について。図書館の近くに住みたいので今の家を購入したのに移転の計画が出てしまい、大変残念です。できれば今の図書館の場所に夕鶴程度でも良いのでサテライト機能の図書館施設が残ることを望みます。</p>	<p>本事業の背景として、本市では「横浜市財政ビジョン」等に基づき、建替えの機会等を捉え、公共建築物の適正化を図り、将来にわたり必要な市民サービスの持続的な提供と地域コミュニティの活性化を目指すこととしています。</p> <p>本事業では、豊岡小学校の建替えの機会を捉え、小学校と融合する機能として、周辺施設等の内容、規模、築年数、親和性等を考慮し、図書館、保育所、区民活動センター等を対象としました。これらの複合化による相乗効果として多様な活動が期待され、居心地よく豊かな時間を過ごせる図書館の実現にもつながるものと考えています。</p> <p>現在の図書館周辺にお住まいの方には、移転に伴いご不便をおかけしますが、これまでの公共施設の枠組みを超えた魅力ある複合施設となるよう検討します。</p> <p>また、現在の図書館・保育所が建っている土地はUR都市機構からお借りしているものであり、移転後の活用については、現時点では未定です。</p>	参考
44	<p>鶴見区は、横浜市の中で人口の増加が著しい地域であります。2024年には、鶴見駅周辺にファミリー向けマンションが多数建設予定されています。そのため、児童が数年後に急激に増えると思いますので、児童向け公共施設の安易なダウンサイジングは、避けて頂きたい。むしろ、児童向け施設を面積拡張するように、よろしくご検討ください。</p>	<p>小学校の教育環境の向上を図ることができるよう、現在の施設整備水準等に基づき、教室や体育館、グラウンド等の広さや機能を整備します(基本構想 P.12～14、32)。今後の段階的な検討においても、最新の情報に基づいて検討します。</p>	参考

45	<p>横浜市で初めての図書館を含む合築だが、図書館は年々蔵書を増やし利用を増やして成長していくものなので、十分な面積と予算が必要である。その点、他の施設と大きく異なることを認識して計画してほしい。外国につながる子どもたちへのサービスなど専門的知見が必要とされる局面が多いため、司書の配置を手厚くしてほしい。建物の設計にあたっては、特に「音」の管理面で困難が予想される。図書館は多様な利用形態が可能になるよう「にぎわい」だけでなく大人へのサービスにも配慮してほしい。</p>	<p>基本構想では、事業検討の初期段階で、全体の方針や方向性をまとめました。基本構想策定後は、コンセプトの実現に向けて、いただいたご意見を参考にしながら、事業計画や設計等も含めた詳細を段階的に検討します。</p>	参考
46	<p>(2) 日本語教室 児童向けを想定していますが、中学生でも成人でも必要と考えます。成人の場合は鶴見区ではどこにありますか？(質問)</p>	<p>豊岡小学校日本語教室では、豊岡小学校の児童の他に、市内の中学生が通い指導を受けています。また、鶴見国際交流ラウンジで成人向けの日本語学習支援を行っています。</p>	その他
47	<p>(5) 施設へのアクセス 豊岡は交通混雑地域で、自家用車だけでなく、区内の各地区から「小型のバス」で本施設へアクセス出来るようにしてほしい。バスレーン等も必要です。 イメージでは郊外の大型団地と大型病院と駅をつなぐバス便です。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の設計等の参考にさせていただきます。</p>	その他
48	<p>(6) 水害対策 内水発生予測地域でしょうか？(質問) であればグランド下に雨水貯蓄施設を広く作ってほしい。</p>	<p>豊岡小学校敷地は、内水浸水想定区域です(最大0.2m未満)。雨水貯留施設の設置については、今後、事業計画等の検討段階に応じて、所管部署と協議しながら調整していきます。</p>	参考

提出していただいたご意見は、原文での公表を基本としていますが、個人情報や第三者の利益を害するおそれがあるものと判断した部分については、修正しています。

イ【意見交換会】

以下の一覧表内にあります「ご意見の受け止め」及び「本市の考え方」については、既に公表している内容*を基本構想の項目別内訳毎に振り分けたものです。

※ ホームページにて、参照できます。

意見交換会3開催記録及び本市の考え方(とりまとめ)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/fmsuishin/facility-management/toyooka/toyookaikenkoukan3.html>



項目 1. はじめに			
No.	ご意見の受け止め	本市の考え方	分類
1	老朽化だから建て替えるというだけでなく、せっかく作るなら鶴見の目玉になるような素晴らしい学校になると嬉しい。	老朽化した豊岡小学校の建替えの機を捉え、周辺の鶴見図書館、鶴見保育園、つるみ区民活動センターと併せて再編整備することで、小学校の教育環境の改善はもちろん、子どもから高齢者まで、安心して過ごすことができる場、生涯学習や地域活動を行うことができる魅力的な場、地域の方々の多様な思いが込められた新しいコミュニティの場とすること等を目指していきます。(基本構想P.1ほか)	参考
2	複合化する機能の選定根拠に疑問があるので、中学校の給食センターを複合化する等のアイデアも改めて考えてみてはどうか。	<p>複合化する施設は、豊岡小学校周辺に立地する複数の公共施設のうち、築年数が比較的古く老朽化等による建替えが想定され、小学校と親和性があり、複合化により互いの機能の連携や相乗効果の発揮が期待できる施設として、図書館、保育所、区民活動センター等を選定したものです。</p> <p>なお、中学校給食については、「横浜市中期計画 2022～2025」の中で、令和8年度から中学校給食の利用を原則とすること、デリバリー方式により供給体制の確保に向けた準備を進める方向性をお示しているところです。</p> <p>その内容については、所管部署よりホームページを公表しています。参考にご覧ください。</p> <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/kyusyoku/tyuugakko/kyushoku.html</p> <p>所管部署:教育委員会事務局人権健康教育部 健康教育・食育課</p>	その他

3	教育の姿は変わっていくと思うので、未来を見据えた検討が必要だ。	現行の「横浜教育ビジョン 2030」や「第4期横浜市教育振興基本計画」等を踏まえつつ、今後の教育環境の変化にも柔軟に対応できるように学校施設の設計を行う等の検討をしていきます。	既に反映
4	複合施設に全て詰め込もうとせず、社協運営の施設等の地域資源の活用も考えることで、児童に必要な機能を優先して欲しい。	小学校及び保育所については、現在の施設整備水準等に基づき整備しますが、いただいたご意見も参考に、複合施設の運営方法や地域資源との連携等について検討を進めていきます。	参考
5	児童の安全について、参加者の意見が聞けて良かった。 他の施設の統廃合も含めた幅広い検討がなされていないことが不満だ。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。 本市では、「横浜市財政ビジョン」等に基づき、建替えの機会等を捉え、公共建築物の適正化を図り、将来にわたり必要な市民サービスの持続的な提供と地域コミュニティの活性化を目指すこととしています。 豊岡小学校の周辺施設等の内容、規模、築年数、親和性等を考慮し、図書館、保育所、区民活動センター等を対象としました。	参考
6	図書館重視、保育園は別という計画もありだと思う。	本市では、「横浜市財政ビジョン」等に基づき、建替えの機会等を捉え、公共建築物の適正化を図り、将来にわたり必要な市民サービスの持続的な提供と地域コミュニティの活性化を目指すこととしています。 豊岡小学校の周辺施設等の内容、規模、築年数、親和性等を考慮し、図書館、保育所、区民活動センター等を対象としました。	参考
7	目的はもっとこだわりをもってほしい。	老朽化した豊岡小学校の建替えの機を捉え、周辺の鶴見図書館、鶴見保育園、つるみ区民活動センターと併せて再編整備することで、小学校の教育環境の改善はもちろん、子どもから高齢者まで、安心して過ごすことができる場、生涯学習や地域活動を行うことができる魅力的な場、地域の方々の多様な思いが込められた新しいコミュニティの場とすること等を目指していきます。(基本構想 P.1 ほか)	参考

項目 2. 目指す姿			
8	高齢者も含め誰にでも学びの機会が開かれていることが重要であり、また、複合化しても運用が縦割りでは繋がりが生まれにくいのではないかと心配なので、「つながる学び舎」のコンセプトをより深められるとよい。	今後、コンセプトの実現に向けて、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。	既に反映
9	繋がり・居場所の定義やイメージが分かりにくいので、どのように具体化するのかが気になる。	基本構想では、事業検討の初期段階で、全体の方針や方向性をまとめました。今後、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。	参考
10	手段であるはずの複合化が目的になっており、コンセプトまでのストーリーが見えないので、納得できるように整理してほしい。	豊岡町複合施設(仮称)は、豊岡小学校周辺に立地する公共施設のうち、「学び」などの共通点があり、複合化により互いの機能の連携や相乗効果の発揮が期待できる図書館、保育所、区民活動センター等を対象としました。 ワークショップや意見交換会では、子育て、多文化交流や多世代交流、地域活性化などに期待する声やコミュニティの中心になってほしいとの期待があったことから、「つながる学び舎」をコンセプトとしました。	参考
11	小学校と図書館が一緒になって学びの場をつくることはメリットがあり実現できるとよいので、丁寧に整理することが必要。	小学校や図書館等が連携することにより、また、複合施設のコンセプトに合った民間機能等の導入や民間事業者のアイデア・ノウハウの活用により、これまでの公共施設の枠組みを超えて、新たな活動や学び、出会いを創造できるよう目指していきます。	既に反映
12	レンタルキッチンへの関心が高まっているので、家庭科室を一般も使えるようにし、食べ物を通した多世代交流が出来ると良い。	いただいたご意見も参考に、教育活動に影響のない範囲での小学校の特別教室等の多目的化についても検討を進めていきます。	参考

13	鶴見は兄弟がいない一人っ子が多いので、保育園・小学校は多世代が交流できるようになると良い。	「多世代が楽しく学び、活動し、つながり、賑わう」を複合施設のコンセプトの一つとしています(基本構想 P.6)。複合施設間相互の連携により、多世代交流や子育て支援の充実等を目指していきます。 今後、コンセプトの実現に向けて、いただいたご意見を参考に、事業計画や設計等の検討を進めていきます。	既に反映
14	保育園を出た子が小学生になって園児の面倒を見るような計画になれば、子どもの教育にも良い。	いただいたご意見も参考に、保育所と小学校の連携等についても検討を進めていきます。	既に反映
15	地域の様々な課題に対し、アクティブシニアも活躍してもらえると良い	今回の複合化では「多世代が楽しく学び、活動し、つながり、賑わう」を複合施設のコンセプトの一つとしています(基本構想 P.6)。シニア層をはじめ様々な年代の方が利用しやすいよう、区民が地域活動に参画するきっかけづくりや、新たな交流・ネットワークが生まれる「場づくり」を進めます。 いただいたご意見は、今後の設計や運営方法等の検討にあたり参考とさせていただきます。	既に反映
16	地域の人も安く利用できるプールがあるとよい。	ワークショップや意見交換会で、複合施設に期待する機能として「健康増進」が挙げられており、その施設として、スポーツジムやプールも想定しています(基本構想 P.10～11)。 今後、いただいたご意見を参考に、設計等も含めた詳細を検討します。 なお、学校プールについては、民間機能の活用を図ることができる場合、整備しないことも検討します。	参考
17	保育所の民営化を機に、今居る保育士や保育自体がガラッと変わってしまうのではないか不安だ。	鶴見保育園は引き続き、保育資源ネットワーク事務局園として、市立保育所の持つ特長を生かして、地域ごとに保育資源ネットワークを構築し、保育の質の維持・向上及び地域における子育て支援の充実に向けた取組を行います。市立保育所として移転するもので、民営化は想定していません。	既に反映

18	図書館と図書室を隣接させることで、より多くの本を読み聞かせできるようになることを期待している。	子どもの学びと読書を支えるため、学校図書館と鶴見図書館が連携しやすい配置を検討します。今後、いただいたご意見を参考にしながら、事業計画等の中で詳細を検討します。	既に反映
項目 3. 施設計画			
19	現在の図書館は古いので、現代の魅力的な図書館のようになると嬉しい。	いただいたご意見や「横浜市図書館ビジョン」も踏まえながら、多くの方に利用され、居心地よく自由に過ごせる場となるよう創意工夫に努めてまいります。	既に反映
20	将来の児童数を見据えた計画になっているのか気になる。	基本構想では、令和5年度義務教育人口推計表の児童数推計に基づいた小学校の規模を想定しています。今後の段階的な検討においても、最新の情報に基づいて検討します。	既に反映
21	子どもが安全に学べて過ごせることを第一に考えることが重要であり、今以上に安全な校舎になるのであれば方針に異論は無い。	小学校・保育所には、専用の出入口を設け、他施設の利用者と移動動線が交わらないようにするなど、必要なセキュリティを確保し、安全安心な環境を整えることとしています(基本構想 P.12～14、17、32)。ご意見を踏まえ、今後の設計や運営方法等の検討に参考にさせていただきます。	既に反映
22	高層階では学習環境や安全性が気になるので、何階建てになるか知りたい。	豊岡小学校の敷地には、最大で8階建て程度の建物の建設が可能ですが、小学校は原則として諸室を低層階に(基本構想 P.14)、保育所は原則として保育室は1階、園庭は地上(基本構想 P.17)に配置することとしています。今後、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考

23	特に反対意見はない。子どもたちの安全が守られている校舎であれば良いと思う。利益重視にならず、小学校としての役割、地域の防災拠点としての役割をきちんと担っていることが重要。	<p>小学校については、複合化しても、現在の学校施設整備水準等に基づく整備を行うとともに、児童の安全確保等との両立等、教育環境の整備・確保を図っていきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、基本構想の「3. 施設計画 3.1 複合施設整備の基本的な考え方 ○地域防災拠点の機能」にて、以下のように修正しました。</p> <p>「●当該小学校は、地域防災拠点として位置づけられているため、地域防災拠点の機能(①避難所、②食料・飲料水・資機材等の備蓄場所、③情報・支援物資の拠点)を備え、建物の耐震性を確保して整備します。※工事期間中も、地域防災拠点機能を維持します。」</p> <p>なお、必要な施設や設備等の詳細については、今後、事業計画等の検討段階に応じて、関係部署及び地域防災拠点運営委員会等と協議しながら調整していきます。</p>	修正
24	学校(子ども)のことで、地域防災拠点の役割が大事だと思うので、その視点を重視して複合化する機能を検討してほしい。	<p>小学校については、複合化しても、現在の学校施設整備水準等に基づく整備を行うとともに、児童の安全確保等との両立等、教育環境の整備・確保を図って行きます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、基本構想の「3. 施設計画 3.1 複合施設整備の基本的な考え方 ○地域防災拠点の機能」にて、以下のように修正しました。</p> <p>「●当該小学校は、地域防災拠点として位置づけられているため、地域防災拠点の機能(①避難所、②食料・飲料水・資機材等の備蓄場所、③情報・支援物資の拠点)を備え、建物の耐震性を確保して整備します。※工事期間中も、地域防災拠点機能を維持します。」</p> <p>なお、必要な施設や設備等の詳細については、今後、事業計画等の検討段階に応じて、関係部署及び地域防災拠点運営委員会等と協議しながら調整していきます。</p>	修正

25	複合化するために小学校の建て替えが蔑ろにされていると感じており、グラウンドや体育館が犠牲になっているのではないかと疑っている。	小学校の教育環境の向上を図ることができるよう、現在の施設整備水準等に基づき、教室や体育館、グラウンド等の広さや機能を整備します(基本構想 P.12～14、32)。 今後、いただいたご意見を参考に、設計等も含めた詳細を検討します。	既に反映
26	複合化で小学校の環境が悪化するのはいくないので、最低限基準は満たすものであってほしい。	小学校の教育環境の向上を図ることができるよう、現在の施設整備水準等に基づき、教室や体育館、グラウンド等の広さや機能を整備します(基本構想 P.12～14、32)。 今後、いただいたご意見を参考に、設計等も含めた詳細を検討します。	既に反映
27	今の計画では小学校が狭くなるのではないかと心配しており、広く見せる工夫があると良い。	小学校の教育環境の向上を図ることができるよう、現在の施設整備水準等に基づき、教室や体育館、グラウンド等の広さや機能を整備します(基本構想 P.12～14、32)。 なお、現段階では、小学校施設の面積は、現在の約 6,500 m ² から約 8,000 m ² 程度に広がるものと考えています(基本構想 P.24)。	既に反映
28	例えばグラウンドを広く取ることを優先した計画等、初めに様々なコンセプトを考えておくべきことが大切ではないか。	小学校及び保育所については、現在の施設整備水準等に基づき整備します。今後、いただいたご意見を参考に、設計時に優先すべきコンセプト等も含めた詳細を検討します。	参考
29	小学生と保育園児が一緒の空間で遊ぶことは安全上、問題があると思うので、園庭とグラウンドは別に十分確保してほしい。	小学校及び保育所については、現在の施設整備水準等に基づき、それぞれ整備します。 今後、いただいたご意見を参考に、設計等も含めた詳細を検討します。	参考
30	図書館と図書室の両方を設けると面積が足りなくなるのではないかと心配。	小学校は、現在の施設整備水準等に基づき整備します(基本構想 P.12～14、32)。また、図書館は、「横浜市図書館ビジョン」を踏まえた施設整備や空間づくりを行います。建物を集約化、高層化することで、面積の確保は可能と考えています(基本構想 P.24～25)。 今後、いただいたご意見を参考に、設計等も含めた詳細を検討します。	参考

31	より多くの蔵書に触れたいが、図書館の規模拡大について検討されていないのではないかと心配している。	基本構想では、事業検討の初期段階で、全体の方針や方向性をまとめました。 図書館は、「横浜市図書館ビジョン」を踏まえた施設整備を行います。複合化による機能の充実と多様な活動を支えられるよう、図書館の所蔵する蔵書・情報を拡充することが必要です。今後、いただいたご意見を参考にしながら、事業計画や建物の設計等も含めた詳細を段階的に検討します。	参 考
32	専門的な資格をもった司書が子どもに対して対応できると良いと思うが、この図書館には司書が配置されるのか気になる。	いただいたご意見は、今後の運営方法等の検討に参考にさせていただきます。	参 考
33	災害に際して安全に避難できるのかを具体的に知りたいが、防災に関する計画が基本構想にあまり記載されておらず残念。	いただいたご意見を踏まえ、基本構想の「3. 施設計画 3.1 複合施設整備の基本的な考え方 ○地域防災拠点の機能」にて、以下のように修正しました。 「●当該小学校は、地域防災拠点として位置づけられているため、地域防災拠点の機能(①避難所、②食料・飲料水・資機材等の備蓄場所、③情報・支援物資の拠点)を備え、建物の耐震性を確保して整備します。※工事期間中も、地域防災拠点機能を維持します。」 なお、必要な施設や設備等の詳細については、今後、事業計画等の検討段階に応じて、関係部署及び地域防災拠点運営委員会等と協議しながら調整していきます。	修 正
34	民間機能や図書館には様々な人が来るので、セキュリティが確保できるかが心配。	小学校・保育所には、専用の出入口を設け、他施設の利用者と移動動線が交わらないようにするなど、必要なセキュリティを確保し、安全安心な環境を整えることとしています(基本構想 P.12～14、17、32)。ご意見を踏まえ、今後の設計や運営方法等の検討に参考にさせていただきます。	既 に 反 映

35	<p>学びに関係ない民間機能が入ることに違和感を覚える。</p>	<p>複合施設のコネプトである「つながる学び舎」(基本構想 P.6)に合い、各公共機能と連携し相乗効果を発揮できる民間機能を導入したいと考えています(基本構想 P.8)。基本構想 P10～11、P23 に記載の方針に沿って、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。</p>	参考
36	<p>既存の小学校敷地を上手く活用し、工事期間中も避難場所が変わらないようにできると安心だ。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、基本構想の「3. 施設計画 3.1 複合施設整備の基本的な考え方 ○地域防災拠点の機能」にて、以下のように修正しました。</p> <p>「●当該小学校は、地域防災拠点として位置づけられているため、地域防災拠点の機能(①避難所、②食料・飲料水・資機材等の備蓄場所、③情報・支援物資の拠点)を備え、建物の耐震性を確保して整備します。※工事期間中も、地域防災拠点機能を維持します。」</p> <p>なお、必要な施設や設備等の詳細については、今後、事業計画等の検討段階に応じて、関係部署及び地域防災拠点運営委員会等と協議しながら調整していきます。</p>	修正
37	<p>敷地を区切って、グラウンド・体育館を確保したとしても、十分足りているのか、混乱は生じないかなど、工事期間中にも防災拠点が十分確保されるのが心配。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、基本構想の「3. 施設計画 3.1 複合施設整備の基本的な考え方 ○地域防災拠点の機能」にて、以下のように修正しました。</p> <p>「●当該小学校は、地域防災拠点として位置づけられているため、地域防災拠点の機能(①避難所、②食料・飲料水・資機材等の備蓄場所、③情報・支援物資の拠点)を備え、建物の耐震性を確保して整備します。※工事期間中も、地域防災拠点機能を維持します。」</p> <p>なお、必要な施設や設備等の詳細については、今後、事業計画等の検討段階に応じて、関係部署及び地域防災拠点運営委員会等と協議しながら調整していきます。</p>	修正

38	居ながら工事では子どもたちの安全性を確保できるのか心配。	本市の小・中学校建替えは、他校においても、学校敷地内で学校運営を継続しながら工事を実施する「居ながら」工事となっています。豊岡小学校についても、敷地の中で建替えることを想定していますが、工事にあたっては、児童の安全確保及び教育活動への負担軽減に努めていきます。具体的な工事計画については、今後、施工業者による計画ができた段階で保護者や地域の方々等にご説明する予定です。	参考
39	工事期間が6年間となると、子どもへの影響が心配であり、複合化が長期化の要因であるならば複合化を断念してもよいのではないかと。	本市の小・中学校建替えは、他校においても、学校敷地内で学校運営を継続しながら工事を実施する「居ながら」工事となっています。「居ながら工事」では、工期を複数に分ける必要があるため、学校単独の建替えであっても4～8年程度の工事期間を要します。工事にあたっては、児童の安全確保及び教育活動への負担軽減に努めるとともに、工事間短縮に向けた検討も進めていきます。具体的な工事計画については、今後、施工業者による計画ができた段階で保護者や地域の方々等にご説明する予定です。	参考
40	6年間の工事期間中の教育環境が気になるので、工事の影響・詳細を知りたい。	工事にあたっては、児童の安全確保及び教育活動への負担軽減に努めるとともに、工事期間短縮に向けた検討も進めていきます。具体的な工事計画については、今後、施工業者による計画ができた段階で保護者や地域の方々等にご説明する予定です。	参考
41	仮校舎ではグラウンドが取れず、居ながら工事では騒音などの影響にさらされることになるので、どちらにしても児童が可哀想。	本市の小・中学校建替えは、他校においても、学校敷地内で学校運営を継続しながら工事を実施する「居ながら」工事となっています。豊岡小学校についても、敷地の中で建替えることを想定していますが、工事にあたっては、児童の安全確保及び教育活動への負担軽減に努めていきます。具体的な工事計画については、今後、施工業者による計画ができた段階で保護者や地域の方々等にご説明する予定です。	参考

42	鶴見駅西口には車・自転車を受け入れられるスペースがないので、まちなかに自転車が溢れ返るのではないかと心配。	複合施設整備に必要な駐車場・駐輪場台数を「横浜市駐車場条例」「横浜市自転車駐車場の附置等に関する条例」等に基づき確保するとともに、利用性や安全性の観点から適切な位置に配置します。 今後、いただいたご意見を参考にしながら、事業計画や設計等も含めた詳細を段階的に検討します。	既に反映
43	現状のままだと鶴見駅西口に駐輪場が無いため、今の鶴見保育園を使っている人(鶴見駅東口側住民)は自転車で登園が出来なくなるのではないかと心配。	複合施設整備に必要な駐車場・駐輪場台数を「横浜市駐車場条例」「横浜市自転車駐車場の附置等に関する条例」等に基づき確保するとともに、利用性や安全性の観点から適切な位置に配置します。 今後、いただいたご意見を参考にしながら、事業計画や設計等も含めた詳細を段階的に検討します。	既に反映
44	高層化すると児童の落下等の危険があるのではないかと心配している。	小学校は原則として諸室を低層階に(基本構想 P.14)、保育所は原則として保育室は1階、園庭は地上(基本構想 P.17)に配置することとしています。 今後、いただいたご意見を参考に必要な安全対策図っていきます。	参考
項目	4. 事業手法		
45	小学校現場は人もお金も足りないと聞いているので、小学校開放などが先生の負担を増やすことになるのではないかと心配。	複合化にあたっては、教職員に運営管理上の負担がかからないよう十分配慮することとしています(基本構想 P.32)。事業計画の中で複合施設全体の運営手法等について検討し、教職員の負担軽減にもつながるよう工夫していきます。	参考
46	図書館にカフェがあると蔵書の破損が懸念されるので、しっかり管理してほしい。	基本構想では、事業検討の初期段階で、全体の方針や方向性をまとめました。 図書館は、「横浜市図書館ビジョン」を踏まえた施設整備を行います。今後、いただいたご意見を参考にしながら、事業計画等の中で運営、管理の方法等も含めた詳細を段階的に検討します。	参考

47	区民活動センターの役割は本来は人材を繋いでいく役割を期待しているが、現在の運営方法では職員が現場に出てこれないので、役割を十分果たせていないのではないかと。	いただいたご意見は、今後の運営方法等の検討にあたり参考にさせていただきます。	参考
項目 その他			
48	利用者のニーズを踏まえた方が良くと思うので、学生にどんな学校が理想かを問うてみるのはいかがでしょうか。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。また、より一層ホームページや SNS 等による周知を図り、将来を担う若い世代の皆様からもご意見やアイデアをいただけるよう、努めてまいります。	参考
49	実際に子どもたちにどう感じているかどうしてもらいたいと聞いて取り入れると良いと思う。	今後は、より一層ホームページや SNS 等による周知を図り、将来を担う若い世代の皆様からもご意見やアイデアをいただけるよう、努めてまいります。	参考
50	今よりもっと良い学校ができるという点でとても良いと思うが、意見を言う場で反対や注文ばかり述べるのではなく、建設的に議論できれば良い。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	既に反映
51	チャレンジングな構想だと思いましたので、今後も興味を持って関わりたい。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	既に反映
52	実際に小学校や保育園を使うことになるであろう若い当事者の意見をもっと取り入れられると良い。	今後は、より一層ホームページや SNS 等による周知を図り、将来を担う若い世代の皆様からもご意見やアイデアをいただけるよう、努めてまいります。	参考
53	慎重に対話を重ねていると思うので、引き続き今後は 30 代や若い世代の話も聞きたい。	今後は、より一層ホームページや SNS 等による周知を図り、将来を担う若い世代の皆様からもご意見やアイデアをいただけるよう、努めてまいります。	参考
54	机上論ではなく、地域動線や今に至る経緯の分析を市は俯瞰して考察してほしい。当事者を大事にしてほしい。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考

55	意見交換会の参加人数が少ないが、色々な場面で情報発信し、もっと広く市民に周知されると良い。	今後は、より一層ホームページや SNS 等による周知を図り、将来を担う若い世代の皆様からもご意見やアイデアをいただけるよう、努めてまいります。	参考
56	意見交換会で出た意見がどう盛り込まれたのか QA を公開する等、検討のプロセスがわかると納得しやすい。	いただいたご意見と本市としての考え方、検討状況等をまとめ、ホームページやニュースレターの配布等により周知を図ります。	参考
57	佃野公園への仮移転も想定できるが、仮移転についての検討経緯が分かるとよい。	佃野公園への仮移転も内部で検討しましたが、公園敷地は浸水が想定される区域で小学校の運営に支障があること、周辺道路が狭く児童の通学や仮設校舎建設のための大型重機の搬出入等が難しいこと等の課題があります。よって、佃野公園への仮移転は想定していません。なお、豊岡小学校周辺には、佃野公園以外に仮設校舎建設が可能な規模の空地は現在のところありません。	参考
58	子どもたちを含め市民ともっと時間をかけて話し合う時間が必要。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。また、より一層ホームページや SNS 等による周知を図り、将来を担う若い世代の皆様からもご意見やアイデアをいただけるよう、努めてまいります。	参考
59	まだまだ時間をかけて計画する必要があると感じる。	基本構想では、事業検討の初期段階で、全体の方針や方向性をまとめました。今後、事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。	参考
60	参加者を呼ぶのではなく、行政が地域に出向いて意見を聞くような場があると良い。	今後も、事業の詳細な計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。意見交換会等の実施方法等については、ご意見を参考に検討します。	参考
61	具体的な内容が示されないと意見を出しにくい当事者もいるので、具体化した段階でも意見を言いたい。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考

62	事業計画で具体化すると思うので、その段階でも意見交換したい。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考
63	具体化しにくい段階だが、コンセプトをどう具現化していくのか示してもらえると嬉しい。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考
64	計画が決まった後で反対が出されるのではないかと心配なので、予め意見を取り入れて計画を検討してほしい。	基本構想(素案)の策定においても、地域の皆様を中心にご意見を伺いながら検討を進めてきましたが、今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考
65	意見交換の参加者が少ないのは、計画が決まっていて意見が反映されないと考えているから。	基本構想(素案)の策定においても、地域の皆様を中心にご意見を伺いながら検討を進めてきました。今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考
66	ワークショップなどに参加したいので、そうした機会のある新しい進め方の施設づくりをしてほしい。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考
67	参加者の思いが伝えられて良い。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考
68	複合施設だけの論点だけでなく、一つ一つ丁寧に議論したいので、論点が散漫にならないよう、リスクとアイデアをわけて論じるとよい。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。 実施方法等については、ご意見を参考に検討します。	参考
69	コンセプトにある「居場所・つながり」をどうつづけていくかについて、もっと意見を言いたい。	今後、コンセプトの実現に向けて、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。	参考

70	複合化の目的に区民の QOL 向上が無いのが気になる。	複合化による施設間の連携(小学校の教育活動への図書館等の活用等)、人が集まることによる地域の活力向上や賑わい形成、「横浜市図書館ビジョン」を踏まえた施設整備等により、区民の皆様の QOL の向上につながるものと考えています。	参考
71	意味が分からない中途半端な施設になるのではないか心配なので、鶴見の代名詞になるような施設を目指せると嬉しい。	今後、コンセプトの実現に向けて、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。	参考
72	魅力的な施設にすることで鶴見の魅力に繋がると良い。	今後、コンセプトの実現に向けて、事業計画や設計等の検討段階に合わせ、意見交換会等でご意見をいただきながら、事業の詳細な計画や設計等を検討していきます。	既に反映
73	鶴見駅東口から豊岡小学校には地下道を通らないといけないが、子どもだけで行かせるには心配。	いただいたご意見については、鶴見駅周辺における安全で快適な歩行空間の確保や交通環境の改善に向けて、参考とさせていただきます。	その他
74	近隣マンションからクレームが入るのではないかが気になる。	いただいたご意見は、今後の設計等の参考にさせていただきます。	その他
75	商店街では小学生の絵を展示している。子どもにとっても良い事は商店街としても協力したい。	今後、いただいたご意見を参考に、商店街の皆様とともに、賑わいの創出やまちの魅力向上に寄与できるよう、設計等も含めた詳細を検討します。	既に反映
76	工事の担当者と学校がこまめに情報共有をしてもらえると安心だ。	工事にあたっては、児童の安全確保及び教育活動への負担軽減に努めるとともに、施工業者と学校関係者が情報共有等できる体制を整えていきます。	参考

77	図書館等の跡地周辺住民にとって居場所がなくなることに不満を感じるので、代わりのメリットがあるとよい。	<p>本事業の背景として、本市では「横浜市財政ビジョン」等に基づき、建替えの機会等を捉え、公共建築物の適正化を図り、将来にわたり必要な市民サービスの持続的な提供と地域コミュニティの活性化を目指すこととしています。</p> <p>本事業では、豊岡小学校の建替えの機会を捉え、小学校と融合する機能として、周辺施設等の内容、規模、築年数、親和性等を考慮し、図書館、保育所、区民活動センター等を対象としました。これらの複合化による相乗効果として多様な活動が期待され、居心地よく豊かな時間を過ごせる図書館の実現にもつながるものと考えています。</p> <p>現在の図書館周辺にお住まいの方には、移転に伴いご不便をおかけしますが、これまでの公共施設の枠組みを超えた魅力ある複合施設となるよう検討します。</p>	参考
78	図書館が移転することのデメリットも明確にして、メリットとデメリットの両面が分かると納得しやすい。	<p>本事業の背景として、本市では「横浜市財政ビジョン」等に基づき、建替えの機会等を捉え、公共建築物の適正化を図り、将来にわたり必要な市民サービスの持続的な提供と地域コミュニティの活性化を目指すこととしています。</p> <p>本事業では、豊岡小学校の建替えの機会を捉え、小学校と融合する機能として、周辺施設等の内容、規模、築年数、親和性等を考慮し、図書館、保育所、区民活動センター等を対象としました。これらの複合化による相乗効果として多様な活動が期待され、居心地よく豊かな時間を過ごせる図書館の実現にもつながるものと考えています。</p> <p>現在の図書館周辺にお住まいの方には、移転に伴いご不便をおかけしますが、これまでの公共施設の枠組みを超えた魅力ある複合施設となるよう検討します。</p>	参考
79	図書館等の跡地活用が気になる。	現在の図書館・保育所が建っている土地はUR都市機構からお借りしているものであり、移転後の活用については、現時点では未定です。	参考

80	ファシリテーターによる対話形式がとても良かった。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考
81	我々の意見を反映される必要がある。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考
82	もっと時間をかけて議論したい。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考
83	意見がどう対応されたのかが分からないことが不満だ。	今後も事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でいただくご意見を参考に、本市の考え方を付して、ホームページ等で公表します。	参考
84	今後も意見交換会に参加したい。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。	参考
85	意見交換会に関しては良かった。予め何を検討するのかが分かると議論しやすい。	今後も、事業計画や設計等の検討段階に合わせて、意見交換会等でご意見をいただきながら、検討を進めていきます。実施方法等については、ご意見を参考に検討します。	参考

令和6年3月

横浜市役所
財政局ファシリティマネジメント推進室ファシリティマネジメント推進課
〒231-0005 横浜市中区本町 6 丁目 50 番地の 10
電話:045-671-3803 FAX:045-662-5369
メールアドレス:ky-toyooka@city.yokohama.jp
